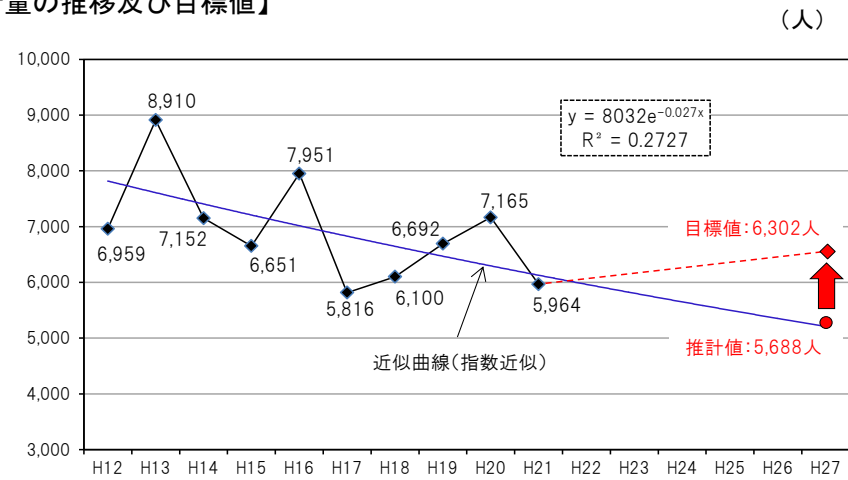


沖縄市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表 (傍線赤文字部分は変更箇所)

変 更 後	変 更 前																
<p>○基本計画の名称：沖縄市中心市街地活性化基本計画 ○作成主体：沖縄県沖縄市 ○計画期間：平成 22 年 3 月から平成 <u>28</u> 年 3 月まで</p> <p>1. 中心市街地活性化に関する基本的な方針 略</p> <p>2. 中心市街地の位置及び区域 略</p> <p>3. 中心市街地の活性化の目標 [1] 略 [2] 計画期間 計画期間は、既に進捗している事業及び本計画に位置付けた事業が完了し、効果が発言するまでの時期を考慮し、平成 22 年 3 月から平成 <u>28</u> 年 3 月末までとする [3] 数値目標 (1) 評価指標設定の考え方 略 (2) 評価指標に基づく数値目標の設定</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指標 1：歩行者通行量（休日）</p> <p>【数値目標】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">評価指標</th> <th style="width: 25%;">現況値（H21 年）</th> <th style="width: 25%;">目標値（H<u>27</u> 年）</th> <th style="width: 25%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩行者通行量</td> <td>5,964 人/日</td> <td>6,302 人/日</td> <td>8 調査点</td> </tr> </tbody> </table> <p>※調査時期についての考え方 歩行者通行量の調査時期については、大規模なイベントが行われていない休日において、午前 10 時から午後 19 時 30 分まで計測するものとする。</p> <p>ア. トренд・将来推計</p> <p>本市では、平成 5 年から毎年、歩行者通行量調査を 6 箇所で開催しているが、近隣市町村への大型商業施設の進出や、中心市街地内の大型ショッピングセンターの撤退、本市郊外への大規模集客施設の立地等により、平成 12 年の歩行者通行量は、平成 6 年に比べ 3 分の 1 以下と急激に減少した。その後、こうした減少傾向は緩やかになり、近年では「コザ・ミュージックタウン」の立地等により微増傾向もみられるものの、過去からの推移を全体的に見ると減少のトレンドを示している。 今後もこうした傾向が続くと想定のもとで、計画期間最終年度の推計値を算出すると 5,688 人となる見込みである。 したがって、本計画では「コザ文化」を基軸とした地域資源活用等による取り組みを進めていくこととし、来街者等によるにぎわいを創造していく。このことにより、平成 24 年度に予定される新たな郊外大規模ショッピングモールの立地後であっても、平成 15 年以降（現在ある郊外大規模集客施設の</p>	評価指標	現況値（H21 年）	目標値（H <u>27</u> 年）	備考	歩行者通行量	5,964 人/日	6,302 人/日	8 調査点	<p>○基本計画の名称：沖縄市中心市街地活性化基本計画 ○作成主体：沖縄県沖縄市 ○計画期間：平成 22 年 3 月から平成 <u>27</u> 年 3 月まで</p> <p>1. 中心市街地活性化に関する基本的な方針 略</p> <p>2. 中心市街地の位置及び区域 略</p> <p>3. 中心市街地の活性化の目標 [1] 略 [2] 計画期間 計画期間は、既に進捗している事業及び本計画に位置付けた事業が完了し、効果が発言するまでの時期を考慮し、平成 22 年 3 月から平成 <u>27</u> 年 3 月末まで <del>の 5 年間</del>とする [3] 数値目標 (1) 評価指標設定の考え方 略 (2) 評価指標に基づく数値目標の設定</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指標 1：歩行者通行量（休日）</p> <p>【数値目標】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">評価指標</th> <th style="width: 25%;">現況値（H21 年）</th> <th style="width: 25%;">目標値（H<u>26</u> 年）</th> <th style="width: 25%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩行者通行量</td> <td>5,964 人/日</td> <td>6,302 人/日</td> <td>8 調査点</td> </tr> </tbody> </table> <p>※調査時期についての考え方 歩行者通行量の調査時期については、大規模なイベントが行われていない休日において、午前 10 時から午後 19 時 30 分まで計測するものとする。</p> <p>ア. トренд・将来推計</p> <p>本市では、平成 5 年から毎年、歩行者通行量調査を 6 箇所で開催しているが、近隣市町村への大型商業施設の進出や、中心市街地内の大型ショッピングセンターの撤退、本市郊外への大規模集客施設の立地等により、平成 12 年の歩行者通行量は、平成 6 年に比べ 3 分の 1 以下と急激に減少した。その後、こうした減少傾向は緩やかになり、近年では「コザ・ミュージックタウン」の立地等により微増傾向もみられるものの、過去からの推移を全体的に見ると減少のトレンドを示している。 今後もこうした傾向が続くと想定のもとで、計画期間最終年度 <del>である平成 26 年</del>の推計値を算出すると 5,688 人となる見込みである。 したがって、本計画では「コザ文化」を基軸とした地域資源活用等による取り組みを進めていくこととし、来街者等によるにぎわいを創造していく。このことにより、平成 24 年度に予定される新たな郊外大規模ショッピングモールの立地後であっても、平成 15 年以降（現在ある郊外大規模集客施設の</p>	評価指標	現況値（H21 年）	目標値（H <u>26</u> 年）	備考	歩行者通行量	5,964 人/日	6,302 人/日	8 調査点
評価指標	現況値（H21 年）	目標値（H <u>27</u> 年）	備考														
歩行者通行量	5,964 人/日	6,302 人/日	8 調査点														
評価指標	現況値（H21 年）	目標値（H <u>26</u> 年）	備考														
歩行者通行量	5,964 人/日	6,302 人/日	8 調査点														

立地がほぼ全て終わった年以降)で最も通行量の多い平成16年の水準を回復させることを長期的な目標に据える。さらに今後5年間においては過去5年間(平成17年～平成21年)の平均値程度まで通行量を増加させることとし、実施される各活性化事業の展開により以下の数値目標を設定するものとする。なお、調査地点については、新たに2箇所を追加する。

【歩行者通行量の推移及び目標値】



※平成21年より新たに追加した調査地点については、全調査地点のトレンドから過去の数

(中略)

(3) 「沖縄市戦後文化資料等展示事業」による効果

沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」は、コザのまちが戦後アメリカ文化の影響を強く受け、いわゆる「コザ文化」を育み発展してきた、沖縄市の歴史を肌で感じることができる資料館であり、コザを訪れる多くの来街者が利用している。沖縄市の戦後のあゆみを資料や写真・パネル、当時の生活用具などを展示していることから、当時を知らない子ども達などへの歴史教育の場としても活用されている。



沖縄市歴史文化資料館「ヒストリート」館内の様子

「ヒストリート」は、平成17年9月に開設され、その後、姉妹館として「しーぶんかん」が開設されたが、「しーぶんかん」は拡張のため一度閉館し、平成21年9月に「ヒストリートⅡ」として開館している。「ヒストリート」では常設展示が中心であったが、2号館の開館により展示資料の拡充や定期的な企画展示が可能となったことから、現在よりも多くの利用者が見込まれる。

目標値の設定にあたっては、過去に「しーぶんかん」において開催した企画展の実績をもとに、**計画期間最終年度**の利用者数を見込む。

なお、当資料館は胡屋地区の商店街内に立地しており、来館者は、商店街内の歩行者通行量の調査地点のうち、少なくとも1箇所を通過するものと想定する。

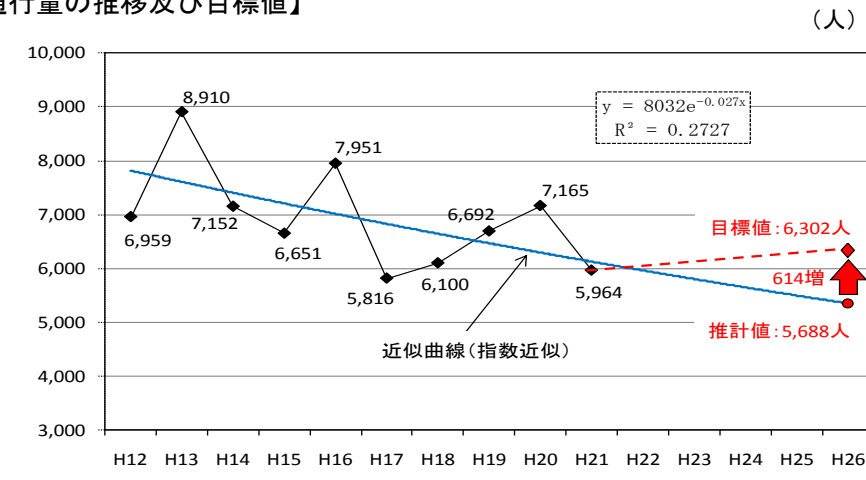
(中略)

(1)～(4)の事業実施による歩行者通行量の全増加分

(1)300人/日+(2)262人/日+(3)7人/日+(4)45人/日 = **614人/日**

立地がほぼ全て終わった年以降)で最も通行量の多い平成16年の水準を回復させることを長期的な目標に据える。さらに今後5年間においては過去5年間(平成17年～平成21年)の平均値程度まで通行量を増加させることとし、実施される各活性化事業の展開により以下の数値目標を設定するものとする。なお、調査地点については、新たに2箇所を追加する。

【歩行者通行量の推移及び目標値】



※平成21年より新たに追加した調査地点については、全調査地点のトレンドから過去の数

(中略)

(3) 「沖縄市戦後文化資料等展示事業」による効果

沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」は、コザのまちが戦後アメリカ文化の影響を強く受け、いわゆる「コザ文化」を育み発展してきた、沖縄市の歴史を肌で感じることができる資料館であり、コザを訪れる多くの来街者が利用している。沖縄市の戦後のあゆみを資料や写真・パネル、当時の生活用具などを展示していることから、当時を知らない子ども達などへの歴史教育の場としても活用されている。



沖縄市歴史文化資料館「ヒストリート」館内の様子

「ヒストリート」は、平成17年9月に開設され、その後、姉妹館として「しーぶんかん」が開設されたが、「しーぶんかん」は拡張のため一度閉館し、平成21年9月に「ヒストリートⅡ」として開館している。「ヒストリート」では常設展示が中心であったが、2号館の開館により展示資料の拡充や定期的な企画展示が可能となったことから、現在よりも多くの利用者が見込まれる。

目標値の設定にあたっては、過去に「しーぶんかん」において開催した企画展の実績をもとに、**5年後**の利用者数を見込む。

なお、当資料館は胡屋地区の商店街内に立地しており、来館者は、商店街内の歩行者通行量の調査地点のうち、少なくとも1箇所を通過するものと想定する。

(中略)

(1)～(4)の事業実施による歩行者通行量の全増加分

(1)300人/日+(2)262人/日+(3)7人/日+(4)45人/日 = **614人/日**

事業名	効果	備考
現況値 (H21)	5,964人	①
推計値 (H27)	5,688人	②
目標値 (H27)	6,302人	③
事業効果	614人	③-②
(1) ミュージックタウン音市場事業等	300人	
(2) 胡屋地区リノベーション事業	262人	
(3) 沖縄市歴史文化資料等展示事業	7人	
(4) 山里第一地区市街地再開発事業	45人	
(5) その他活性化を補強する主な事業 ミュージックタウン推進事業 (コンテンツプロデュース事業) プロムナードコンサート事業 モグコザ準備室 中心市街地情報発信支援事業 音楽によるまちづくり広報支援事業 商店街再生チャレンジショップ事業 商店街賑わい創出事業 食とアートと交流の街づくり事業 沖縄市中心市街地循環コミュニティバス事業 音の回廊事業 駐車場誘導システム整備事業	—人	

(中略)

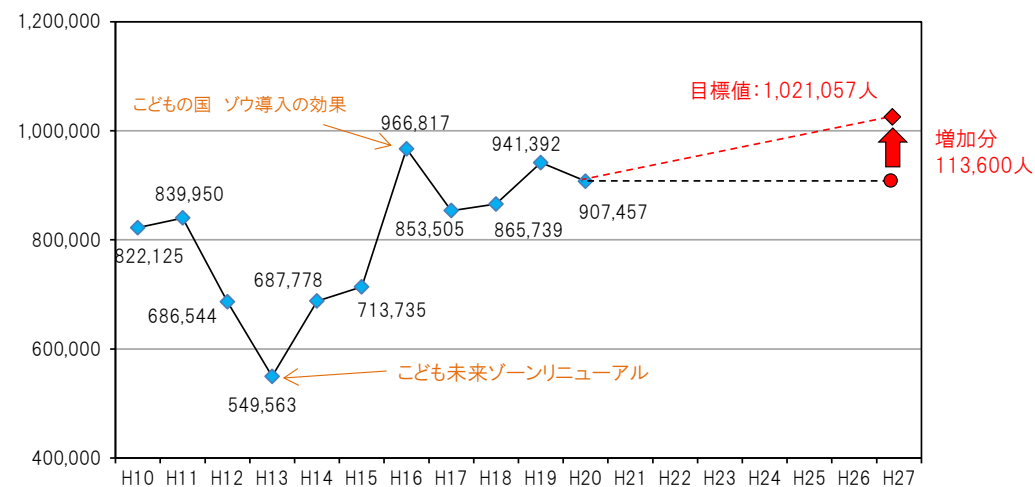
指標 2 : 都市福利施設の年間利用者数

【数値目標】

評価指標	現況値 (H21年)	目標値 (H27年)	備考
都市福利施設の年間利用者数	907,457人/年	1,021,057人/年	5施設

(中略)

都市福利施設における年間利用者数 (人)



※目標数値の設定にあたっては、改修による長期の閉鎖等により過去のトレンドに連続性が確保できないことに加え、今後新たな施設が追加されることを勘案して、将来の推計値を用いず、現況値(実績)から目標値を設定する。

事業名	効果	備考
現況値 (H21)	5,964人	③
推計値 (H26)	5,688人	②
目標値 (H26)	6,302人	③
事業効果	614人	③-②
(1) ミュージックタウン音市場事業等	300人	
(2) 胡屋地区リノベーション事業	262人	
(3) 沖縄市歴史文化資料等展示事業	7人	
(4) 山里第一地区市街地再開発事業	45人	
(5) その他活性化を補強する主な事業 ミュージックタウン推進事業 (コンテンツプロデュース事業) プロムナードコンサート事業 モグコザ準備室 中心市街地情報発信支援事業 音楽によるまちづくり広報支援事業 商店街再生チャレンジショップ事業 商店街賑わい創出事業 食とアートと交流の街づくり事業 沖縄市中心市街地循環コミュニティバス事業 音の回廊事業 駐車場誘導システム整備事業	—人	

(中略)

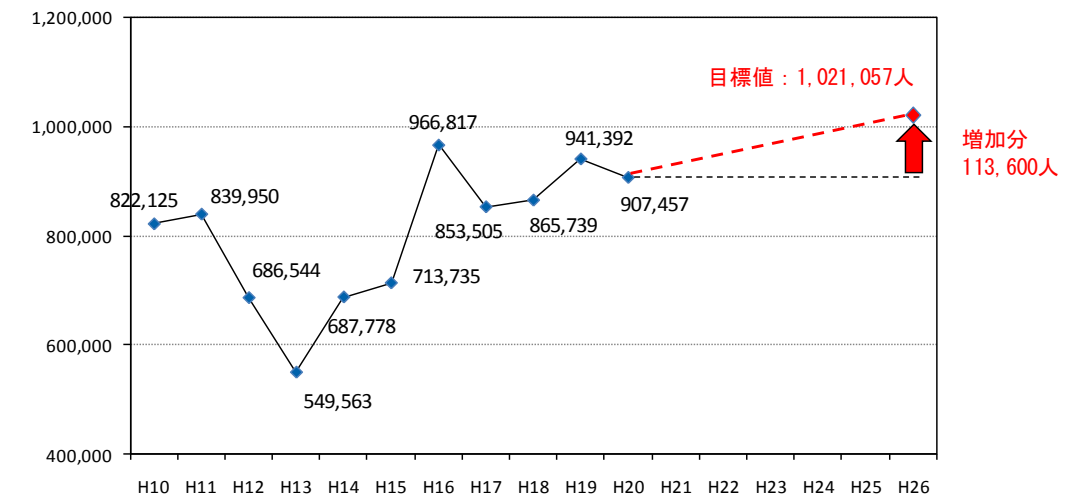
指標 2 : 都市福利施設の年間利用者数

【数値目標】

評価指標	現況値 (H21年)	目標値 (H26年)	備考
都市福利施設の年間利用者数	907,457人/年	1,021,057人/年	5施設

(中略)

都市福利施設における年間利用者数 (人)



※目標数値の設定にあたっては、改修による長期の閉鎖等により過去のトレンドに連続性が確保できないことに加え、今後新たな施設が追加されることを勘案して、将来の推計値を用いず、現況値(実績)から目標値を設定する。

(中略)

(4)「コザ運動公園体育施設整備事業」による効果

当該施設は、陸上競技場、体育館、野球場、トレーニングルームなどの様々なスポーツ施設が整備された都市公園であり、健康増進や娯楽施設として中心市街地内の人を含め多くの市民が利用している。中心市街地の活性化を推進するにあたっては、さらなる付加価値の向上による利便性を高めるために、老朽化した体育館及び野球場の建替え、(仮称)多目的センターの建設、野外ステージの改修を実施する。目標値の設定については、市民が様々な用途で利用できる体育館や多目的センターの建替え及び建設によって利用者の増加が見込まれる当該施設の年間利用者数とする。体育館の利用者については、現体育館と建替えによる新体育館における施設規模と年間利用者実績との関係、(仮称)多目的センターの利用者については、同機能を有した沖縄県総合運動公園内多目的ドーム(本市郊外部)における施設規模と年間利用者実績との関係により、計画期間最終年度の目標値を以下のとおり算出する。

(中略)

(1)～(5)の事業実施による年間都市福利施設の利用者数の増加(合計)

(1)24,800人/年+(2)3,500人/年+(3)27,000人/年+(4)43,000人/年+(5)15,300人/年  
= **113,600人/年**

「中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善」の目標達成に寄与する事業及び効果

施設名(事業名)	効果	備考
都市福利施設の充実・強化などにおける付加価値の向上による魅力の創出		
現況値(H21)	907,457人	4施設における年間利用者数
目標値(H27)	1,021,057人	5施設における年間利用者数
事業効果	113,600人	5事業による効果(増加人数)
(1)沖縄市立図書館	24,800人	コリンザ内への移転整備
(2)子育て支援施設	3,500人	リノベーション事業による新設
(3)社会福祉センター・男女共同参画センター	27,000人	複合施設の建設整備
(4)沖縄市コザ運動公園	43,000人	体育館・多目的センターの建設整備
(5)沖縄子ども未来ゾーン(沖縄こどもの国)	15,300人	動物園舎の改修等の整備
(6)その他目標達成に寄与する事業	—人	
①都市公園防災事業		①こどもの国の園路整備
②市民会館改修事業		②市民会館設備の改修
③山里第一地区市街地再開発事業		③クリニックモール等の整備
④沖縄市中心市街地循環コミュニティバス事業		④主要施設間のコミュニティバス循環
その他中心市街地全体としての付加価値の向上による魅力の創出		
(1)安慶田地区土地区画整理事業	—	区画整理事業による防災性の向上
(2)山里第一地区市街地再開発事業	—	再開発事業による防災性の向上
(3)安慶田市営住宅建替え事業	—	安全性及び住宅困窮者へのストック供給
(4)中心市街地共同住宅供給促進事業	—	民間による共同住宅建設の誘導

(中略)

(4)「コザ運動公園体育施設整備事業」による効果

当該施設は、陸上競技場、体育館、野球場、トレーニングルームなどの様々なスポーツ施設が整備された都市公園であり、健康増進や娯楽施設として中心市街地内の人を含め多くの市民が利用している。中心市街地の活性化を推進するにあたっては、さらなる付加価値の向上による利便性を高めるために、老朽化した体育館及び野球場の建替え、(仮称)多目的センターの建設、野外ステージの改修を実施する。目標値の設定については、市民が様々な用途で利用できる体育館や多目的センターの建替え及び建設によって利用者の増加が見込まれる当該施設の年間利用者数とする。体育館の利用者については、現体育館と建替えによる新体育館における施設規模と年間利用者実績との関係、(仮称)多目的センターの利用者については、同機能を有した沖縄県総合運動公園内多目的ドーム(本市郊外部)における施設規模と年間利用者実績との関係により、5年後の目標値を以下のとおり算出する。

(中略)

(1)～(5)の事業実施による年間都市福利施設の利用者数の増加(合計)

(1)24,800人/年+(2)3,500人/年+(3)27,000人/年+(4)43,000人/年+(5)15,300人/年  
= **113,600人/年**

「中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善」の目標達成に寄与する事業及び効果

施設名(事業名)	効果	備考
都市福利施設の充実・強化などにおける付加価値の向上による魅力の創出		
現況値(H21)	907,457人	4施設における年間利用者数
目標値(H26)	1,021,057人	5施設における年間利用者数
事業効果	113,600人	5事業による効果(増加人数)
(1)沖縄市立図書館	24,800人	コリンザ内への移転整備
(2)子育て支援施設	3,500人	リノベーション事業による新設
(3)社会福祉センター・男女共同参画センター	27,000人	複合施設の建設整備
(4)沖縄市コザ運動公園	43,000人	体育館・多目的センターの建設整備
(5)沖縄子ども未来ゾーン(沖縄こどもの国)	15,300人	動物園舎の改修等の整備
(6)その他目標達成に寄与する事業	—人	
①都市公園防災事業		①こどもの国の園路整備
②市民会館改修事業		②市民会館設備の改修
③山里第一地区市街地再開発事業		③クリニックモール等の整備
④沖縄市中心市街地循環コミュニティバス事業		④主要施設間のコミュニティバス循環
その他中心市街地全体としての付加価値の向上による魅力の創出		
(1)安慶田地区土地区画整理事業	—	区画整理事業による防災性の向上
(2)山里第一地区市街地再開発事業	—	再開発事業による防災性の向上
(3)安慶田市営住宅建替え事業	—	安全性及び住宅困窮者へのストック供給
(4)中心市街地共同住宅供給促進事業	—	民間による共同住宅建設の誘導



4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 安慶田地区土地区画整理事業</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	沖縄市	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金（都市再生区画整理事業）</p> <p>○実施時期 H22～<u>H27</u></p>	



安慶田地区鳥瞰イメージ



安慶田地区街区断面イメージ

(安慶田地区土地区画整理事業計画等委託業務報告書より)

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 安慶田地区土地区画整理事業</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	沖縄市	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金（都市再生区画整理事業）</p> <p>○実施時期 H22～<u>H26</u></p>	



安慶田地区鳥瞰イメージ



安慶田地区街区断面イメージ

(安慶田地区土地区画整理事業計画等委託業務報告書より)

○事業名  
山里第一地区市街地再開発事業

沖縄市山里第一地区市街地再開発準備組合

○位置付け

多様な世帯に対応した住宅供給や社会福祉施設・医療施設などの立地促進によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付ける。

○必要性

地域の生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業施設棟のほか、スポーツ施設など地域の生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備することにより、街なか居住の促進を図るものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。

○支援措置  
社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）

○実施時期  
H24～H27

○内容  
まちなか居住等の推進のための第1種市街地再開発事業  
区域面積  
約1.3ha  
延床面積  
約24,000㎡

○実施時期  
H22～H27



全体イメージ



計画平面イメージ

（沖縄市山里第一地区市街地再開発事業の事業計画素案の概要より）

○事業名  
山里第一地区市街地再開発事業

沖縄市山里第一地区市街地再開発準備組合

○位置付け

多様な世帯に対応した住宅供給や社会福祉施設・医療施設などの立地促進によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付ける。

○必要性

地域の生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業施設棟のほか、スポーツ施設やタリニックスモール等、地域の生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備することにより、街なか居住の促進を図るものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。

~~【事業予定】~~

~~平成22年度～23年度~~

~~事業調整、都市計画決定、事業認可~~

~~平成24年度~~

~~権利変換計画認可、実施設計~~

~~平成25年度~~

~~工事着工~~

~~平成26年度~~

~~工事完了（H26年10月竣工予定）~~

○内容  
まちなか居住等の推進のための第1種市街地再開発事業  
区域面積  
約1.3ha  
施設面積  
約19,600㎡

○実施時期  
H22～H26



全体イメージ



計画平面イメージ

（沖縄市山里第一地区市街地再開発事業の事業計画素案の概要より）

<p>○事業名 音の回廊事業（こどもの国線、中央公園線他）</p> <p>○内容 地方道路整備事業（こどもの国線、中央公園線他）</p> <p>○実施時期 H23～H27</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 音楽によるまちづくりを推進するために、まちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することでまちの効果的な回遊性確保に資する事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 ミュージックタウン拠点と沖縄こどもの国を結ぶ市道（中央公園線、こどもの国線、こどもの国北側線）において、光や音の出るストリートファニチャーや遊具等を設置し、歩いてみたくなる歩行空間づくりを行う。併せて、関連社会資本整備事業に位置付けられる動物園舎整備やこどもの国野外ステージの改修工事を行うことで、ミュージックタウンと連携したイベントの実施などにより相互間の回遊性を高める事を実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の関連社会資本整備事業）</p> <p>○実施時期 H23～H27</p>			<p>○事業名 音の回廊事業（こどもの国線、中央公園線他）</p> <p>○内容 地方道路整備事業（こどもの国線、中央公園線他）</p> <p>○実施時期 H23～H26</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 音楽によるまちづくりを推進するために、まちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することでまちの効果的な回遊性確保に資する事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 ミュージックタウン拠点と沖縄こどもの国を結ぶ市道（中央公園線、こどもの国線、こどもの国北側線）において、光や音の出るストリートファニチャーや遊具等を設置し、歩いてみたくなる歩行空間づくりを行う。併せて、関連社会資本整備事業に位置付けられる動物園舎整備やこどもの国野外ステージの改修工事を行うことで、ミュージックタウンと連携したイベントの実施などにより相互間の回遊性を高める事を実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の関連社会資本整備事業）</p> <p>○実施時期 H23～H26</p>		
<p>○事業名 音の回廊事業（中の町1号線、グランド通り線他）</p> <p>○内容 地方道路整備事業（中の町1号線、グランド通り線他）</p> <p>○実施時期 H22～H27</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 音楽によるまちづくりを推進するために、まちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することでまちの効果的な回遊性確保に資する事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 ミュージックタウン拠点とコザ運動公園結ぶ市道（市道中の町1号線、市道グランド通り線）において、光によるライトアップや音楽を感じさせる道路舗装等を行うことで、歩いてみたくなる歩行空間づくりを行う。 また、関連社会資本整備事業としてコザ運動公園内の野外ステージの改修工事を行うことにより、ミュージックタウン拠点と連携した音楽イベントを開催し、当該回廊が誘導路線となるように道路を整備することで、回遊性を高める事を実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の関連社会資本整備事業）</p> <p>○実施時期 H23～H27</p>			<p>○事業名 音の回廊事業（中の町1号線、グランド通り線他）</p> <p>○内容 地方道路整備事業（中の町1号線、グランド通り線他）</p> <p>○実施時期 H22～H26</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 音楽によるまちづくりを推進するために、まちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用することでまちの効果的な回遊性確保に資する事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 ミュージックタウン拠点とコザ運動公園結ぶ市道（市道中の町1号線、市道グランド通り線）において、光によるライトアップや音楽を感じさせる道路舗装等を行うことで、歩いてみたくなる歩行空間づくりを行う。 また、関連社会資本整備事業としてコザ運動公園内の野外ステージの改修工事を行うことにより、ミュージックタウン拠点と連携した音楽イベントを開催し、当該回廊が誘導路線となるように道路を整備することで、回遊性を高める事を実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の関連社会資本整備事業）</p> <p>○実施時期 H23～H26</p>		
<p>○事業名 胡屋地区商店街周辺道路整備事業（市道センター15号線他） (略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>			<p>○事業名 胡屋地区商店街周辺道路整備事業（市道センター15号線他） (略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>		



○事業名 山里地区再開発周辺道路整備事業 (市道諸見里山里線他)	沖縄市	○位置づけ 山里再開発事業と連携した周辺道路の整備により、再開発事業を補完する事業として位置付ける。	○支援措置 社会資本整備交付金(市街地再開発事業(山里第一地区市街地再開発事業)と一体の関連社会資本整備事業)		
○内容 地方道路整備事業(市道諸見里山里線他)		○必要性 地域の生活拠点の核づくりを目指す山里再開発事業と連携した周辺道路の整備により、街なか居住の促進や誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。	○実施時期 H26～H27		
○実施時期 H22～H27					
○事業名 国道330号沿線景観整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)		

新規追加					
○事業名 国道330号沿線景観整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)		

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

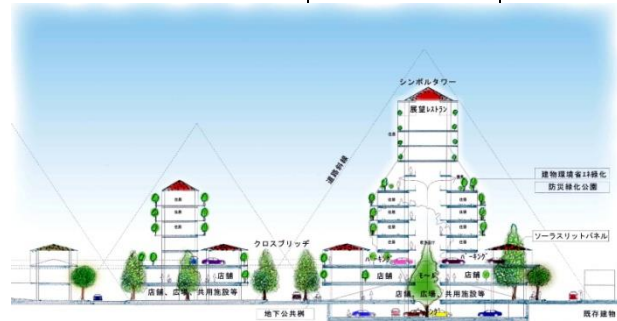
事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 安慶田地区土地区画整理事業 【*再掲】	沖縄市	○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ(地域力)の再生を図る事業として位置付けている。	○支援措置 社会資本整備総合交付金(道路事業(区画))	
○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備		○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。	○実施時期 H22～H23	
施行面積 8.7ha				
○実施時期 H21～H30				

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 安慶田地区土地区画整理事業 【*再掲】	沖縄市	○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ(地域力)の再生を図る事業として位置付けている。	○支援措置 社会資本整備総合交付金(道路事業(区画))	
○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備		○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図ることで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を図り、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。	○実施時期 H22～H26	
施行面積 8.7ha				
○実施時期 H21～H30				





安慶田地区鳥瞰イメージ

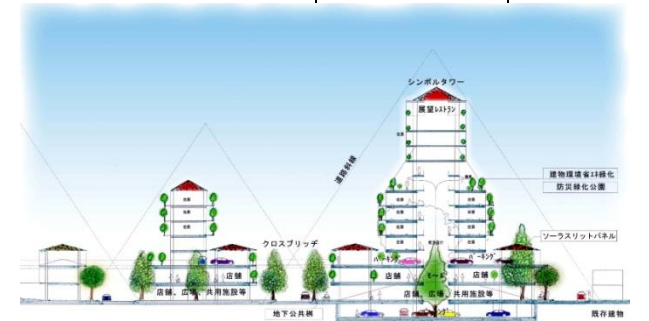


安慶田地区街区断面イメージ

(安慶田地区土地区画整理事業計画等委託業務報告書より)



安慶田地区鳥瞰イメージ



安慶田地区街区断面イメージ

(安慶田地区土地区画整理事業計画等委託業務報告書より)

○事業名  
都市公園事業（こどもの国公園）

沖縄市

○位置付け

世代を超えて受け継がれてきた貴重な自然環境を保全するとともにまちなかにおけるみどりの創出につなげていき動物の生態系や環境に配慮した都市公園づくりを進め、野鳥や昆虫が生息する市内有数な場所として、動物センターを中心に自然を体験できる環境教育プログラムを導入するなど、人と自然・動物とのふれあいをとおして自然の成り立ちを学び、体験する施設づくりをすることで、まちの効果的な回遊性を確保する事業として位置付けている。

○支援措置  
社会資本整備総合交付金（都市公園等事業）

○実施時期  
H22～H27

○実施時期  
H22～H31

○必要性

こどもの国公園（沖縄こども未来ゾーン）は、昭和36年9月に本市第一号の都市公園として計画、整備された近隣公園であるが、バリアフリー法や国土交通省策定の都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン、防災機能の強化など社会情勢の変化に対応しなくてはならない。このようなことをふまえ整備を推進していくことは誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。

○事業名  
都市公園事業（こどもの国公園）

沖縄市

○位置付け

世代を超えて受け継がれてきた貴重な自然環境を保全するとともにまちなかにおけるみどりの創出につなげていき動物の生態系や環境に配慮した都市公園づくりを進め、野鳥や昆虫が生息する市内有数な場所として、動物センターを中心に自然を体験できる環境教育プログラムを導入するなど、人と自然・動物とのふれあいをとおして自然の成り立ちを学び、体験する施設づくりをすることで、まちの効果的な回遊性を確保する事業として位置付けている。

○支援措置  
社会資本整備総合交付金（都市公園等事業）

○実施時期  
H22～H26

○実施時期  
H22～H26

○必要性

こどもの国公園（沖縄こども未来ゾーン）は、昭和36年9月に本市第一号の都市公園として計画、整備された近隣公園であるが、バリアフリー法や国土交通省策定の都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン、防災機能の強化など社会情勢の変化に対応しなくてはならない。このようなことをふまえ整備を推進していくことは誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。

<p>○事業名 中の町地区 土地区画整 理事業</p> <p>○内容 <u>土地区画整 理事業によ る基盤整備 に向けた調 査と、本地 区にふさわ しいまちづ くりの推進 に向けた建 築物整備方 針の検討</u></p> <p>○実施時期 H24～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮したまちの雰囲気<del>を</del>資源とし <u>た積極的な活用や、土地区画整理事業による都 市計画街路や区画道路等の都市基盤整備など、</u> 地区の再生を目指した計画策定を行う。</p> <p>また、<u>南側地区界沿いに主要区画道路を</u>配置 することにより、コザゲート通りにおけるイベ ント時や休日のトランジットモール化に伴う、 う回路として活用することで、まちのにぎわい と活性化を図る事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 土地区画整理事業の<u>施行</u>により、老朽化<u>建築 物・密集市街地の解消</u>や狭小幅員道路・行き止 まり道路の<u>解消等</u>により、<u>住環境の改善</u>や回遊 性の向上、<u>賑わい創出</u>などを図るため必要であ る。</p>	<p>○支援措置 ①民間まち づくり活動 促進事業</p> <p>②街路交通 調査（土地区 画整理事業 調査）</p> <p>○実施時期 ①H24 ②H25～H26</p>	<p>土地区画 整理事業 の導入を 想定し、地 権者の合 意形成<u>及 び意識高 揚</u>を図る</p>	<p>○事業名 中の町地区 土地区画整 理事業</p> <p>○内容 <u>商業施設、 交流施設、 住宅、交通 結節機能等 整備の事業 化推進</u>に向 けた調査</p> <p>○実施時期 H24～<u>H26</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮したまち<u>そのもの</u>の雰囲気<del>を</del> 資源として<u>積極的に活用し、街路事業や土地区 画整理事業を活用し、B地区における都市計画 街路、C地区における防災安全道路や区画道路 の整理等、都市基盤整備について当該事業で整 理を行い、</u>地区の再生を目指した計画策定を行 う。</p> <p>また、<u>防災安全道路を</u>地区内に配置するこ とにより、コザゲート通りにおけるイベント時や 休日のトランジットモール化に伴う、う回路と して活用することで、まちのにぎわいと活性化 を図る事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 土地区画整理事業の<u>施工を行うこと</u>により、 <u>建物の老朽化・密集解消や商業景観形成、</u>狭小 幅員道路・行き止まり道路の解消により回遊性 の向上を図るため必要である。</p>	<p>○支援措置 ①民間まち づくり活動 促進事業</p> <p>②街路交通 調査（土地区 画整理事業 調査）</p> <p>○実施時期 ①H24 ②H25～H26</p>	<p>土地区画 整理事業 の導入を 想定し、地 権者の合 意形成を 図る</p>
--	------------	---	--	--	--	------------	---	--	--

(3) 中心市街地の活性化に資するその他支援措置に関連する事業

(3) 中心市街地の活性化に資するその他支援措置に関連する事業

事業名、内 内容及び実施 時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の 内容及び実 施時期	その他の事 項
<p>○事業名 沖縄市景観 <u>まちづくり</u> 事業</p> <p>○内容 地域資源を 活かした街 並み景観の 創出</p> <p>○実施時期 H21～<u>H25</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮した街<u>そのもの</u>の雰囲気<del>を</del>資 源として積極的に活用し、まちに効果的な回遊 性を確保する。また、市民との協働による景観 づくり（まちづくり）に向けた施策を実現化す る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 地域の実情や歴史などを考慮したゆるやかな まちづくりを進め、コザゲート通りとくすのき 通りについて<u>重点</u>地区に指定し、魅力ある景観 を保全・活用することでまちの活性化を図る。 また、コザゲート通りについては、<u>屋外広告物 の規制緩和等により</u>、沖縄市らしい風景（景観） を保全・形成する<u>など、特色ある</u>まちづくりを 実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 風景づくり 推進事業（景 観計画の策 定、住民意見 の聴取・合意 形成・周知・ 啓発等の活 動）</p> <p>○実施時期 H21～H24</p>	

事業名、内 内容及び実施 時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の 内容及び実 施時期	その他の 事項
<p>○事業名 沖縄市景観 <u>計画策定</u>事 業</p> <p>○内容 地域資源を 活かした街 並み景観の 創出</p> <p>○実施時期 H21～<u>H24</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮した街<u>そのもの</u>の雰囲気<del>を</del>資 源として積極的に活用し、まちに効果的な回遊 性を確保する。また、市民との協働による景観 づくり（まちづくり）に向けた施策を実現化す る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 地域の実情や歴史などを考慮したゆるやかな まちづくりを進め、コザゲート通りとくすのき 通りについて<u>景観</u>地区に指定し、魅力ある景観 を保全・活用することでまちの活性化を図る。 また、<u>屋外広告物条例を県から権限移譲を受け、 コザゲート通りについては規制緩和すること で、さらにまちに魅力的な看板等を設置し、沖 縄市らしい風景（景観）を保全・形成するこ とは、居心地の良い</u>まちづくりを実現する上で必 要である。</p>	<p>○支援措置 風景づくり 推進事業（景 観計画の策 定、住民意見 の聴取・合意 形成・周知・ 啓発等の活 動）</p> <p>○実施時期 H21～H24</p>	

(4) 略

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 コリンザ再生事業</p> <p>○内容 大型空き店舗の改修による都市福利施設の整備</p> <p>○実施時期 H21～H27</p>	沖縄市	<p>○位置付け コリンザ再生事業は、現在、市が区分所有している複合商業施設「コリンザ」をコンバージョンし、既存の市民小劇場「あしびなー」に加え、市民ニーズが高く、利便性の向上が求められている図書館を移転・整備することにより、中心市街地における都市福利施設の充実・強化を図る。併せて商業集積や雇用促進施設などの業務機能を強化することにより、中心市街地におけるビジネス拠点を形成する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 特定中小商業集積施設であるコリンザに、<u>市民ニーズの高い図書館、雇用促進施設</u>等の都市福利施設の配置を行う事で当該施設の再生と、まちなかのにぎわいを創出するために必要である。</p>	<p>○支援措置</p> <p>① 中心市街地再活性化特別対策事業</p> <p>② 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）（計画コーディネート支援））</p> <p>③ 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区））（<u>空きビル再生支援事業</u>）</p> <p>④ <u>沖縄振興特別推進市町村交付金</u></p> <p>○実施時期 ①H26～H27 ②H25 ③H26～H27 ④H26～H27</p>	

(4) 略

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 コリンザ再生事業</p> <p>○内容 大型空き店舗の改修による都市福利施設の整備</p> <p>○実施時期 H21～H26</p>	沖縄市	<p>○位置付け コリンザ再生事業は、現在、市が区分所有している複合商業施設「コリンザ」をコンバージョンし、既存の市民小劇場「あしびなー」に加え、市民ニーズが高く、利便性の向上が求められている図書館を移転・整備することにより、中心市街地における都市福利施設の充実・強化を図る。併せて商業集積や雇用促進施設などの業務機能を強化することにより、中心市街地におけるビジネス拠点を形成する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 特定中小商業集積施設であるコリンザ再生を<u>行うコンバージョン事業や太陽光パネル設置による改修を行い、中心市街地の活性化に寄与する</u>図書館等の都市福利施設の配置を行う事で当該施設の再生と、まちなかのにぎわいを創出するために必要である。</p>	<p>○支援措置</p> <p>① 中心市街地再活性化特別対策事業</p> <p>② 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）（計画コーディネート支援））</p> <p>③ 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区））</p> <p>○実施時期 ①H26 ②H25 ③H26</p>	



<p>○事業名 中心市街地 就労等支援 事業</p> <p>○内容 中心市街地 における若 年者・子育 て世代・高 齢者等の就 労活動支援 及び就労者 に対する子 育て支援施 設</p> <p>○実施時期 H23～</p>	<p>沖繩市</p>	<p>○位置づけ 雇用情勢の厳しい若年者等の就労支援をはじめ、子育てや高齢者への支援等をワンストップで展開することにより、市民生活の安定・安心や地域経済の活性化を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 中心市街地において就労支援および子育て支援施設を配置することにより、中心市街地における都市福利施設の充実と周辺商店街へのにぎわいの創出に寄与する施設として必要である。</p>	<p>○支援措置 ①緊急雇用 創出事業（重 点分野）</p> <p>②社会資本 整備総合交 付金（暮ら し・にぎわい 再生事業（コ リンザ地区） と一体の効 果促進事業</p> <p>③沖縄振興 特別推進市 町村交付金</p> <p>○実施時期 ①H23 ②H24 ③H25～<b>H27</b></p>	
---	------------	--	--	--

<p>○事業名 中心市街地 就労等支援 事業</p> <p>○内容 中心市街地 における若 年者・子育 て世代・高 齢者等の就 労活動支援 及び就労者 に対する子 育て支援施 設</p> <p>○実施時期 H23～</p>	<p>沖繩市</p>	<p>○位置づけ 雇用情勢の厳しい若年者等の就労支援をはじめ、子育てや高齢者への支援等をワンストップで展開することにより、市民生活の安定・安心や地域経済の活性化を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 中心市街地において就労支援および子育て支援施設を配置することにより、中心市街地における都市福利施設の充実と周辺商店街へのにぎわいの創出に寄与する施設として必要である。</p>	<p>○支援措置 ①緊急雇用 創出事業（重 点分野）</p> <p>②社会資本 整備総合交 付金（暮ら し・にぎわい 再生事業（コ リンザ地区） と一体の効 果促進事業</p> <p>③沖縄振興 特別推進市 町村交付金</p> <p>○実施時期 ①H23 ②H24 ③H25～<b>H26</b></p>	
---	------------	--	--	--

(2) ② 略

(2) ② 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 コザ運動後 援体育施設 整備事業 (略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	
<p>○事業名 文化活動拠 点施設改修 事業</p> <p>○内容 市民会館<b>設 備等</b>改修</p> <p>○実施時期</p>	<p>沖繩市</p>	<p>○位置付け 都市福利施設である市民会館の館内設備の改修を実施する。 これにより、中心市街地における文化拠点として整備する事業と位置付けている。</p> <p>○必要性 現在、老朽化した市民会館の館内設備の改修を行うことにより、文化拠点の強化を図り、新たな芸能公演やコンサート等の誘致を行うこと</p>	<p>○支援措置 ①民生安定 施設設置助 成事業</p> <p>②特定防衛 施設周辺整 備交付金</p> <p>③沖縄振興</p>	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 コザ運動後 援体育施設 整備事業 (略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	
<p>○事業名 文化活動拠 点施設改修 事業</p> <p>○内容 市民会館改 修</p> <p>○実施時期</p>	<p>沖繩市</p>	<p>○位置付け 都市福利施設である市民会館の館内設備の改修を実施する。 これにより、中心市街地における文化拠点として整備する事業と位置付けている。</p> <p>○必要性 現在、老朽化した市民会館の館内設備の改修を行うことにより、文化拠点の強化を図り、新たな芸能公演やコンサート等の誘致を行うこと</p>	<p>○支援措置 ①民生安定 施設設置助 成事業</p> <p>②特定防衛 施設周辺整 備交付金</p> <p>③沖縄振興</p>	

H22～H30		で、周辺商店街への波及が期待でき、まちの回遊性を高めることに寄与することから、コザ文化の魅力を生かしたにぎわいづくりをするために必要である。	特別推進市 町村交付金  ○実施時期 ①H22～H24 ②H22～H24 ③H25～H27	
○事業名 コザ小学校 校舎改築事 業（特別教 室） （略）	（略）	（略）	（略）	
○事業名 （仮称）社 会福祉セン ター・男女 共同参画セ ンター建設 事業 （略）	（略）	（略）	（略）	

(4) 略

H22～H30		で、周辺商店街への波及が期待でき、まちの回遊性を高めることに寄与することから、コザ文化の魅力を生かしたにぎわいづくりをするために必要である。	特別推進市 町村交付金  ○実施時期 ①H22～H24 ②H22～H24 ③H25～H26	
○事業名 コザ小学校 校舎改築事 業（特別教 室） （略）	（略）	（略）	（略）	
○事業名 （仮称）社 会福祉セン ター・男女 共同参画セ ンター建設 事業 （略）	（略）	（略）	（略）	

(4) 略

6. 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等に関する事項

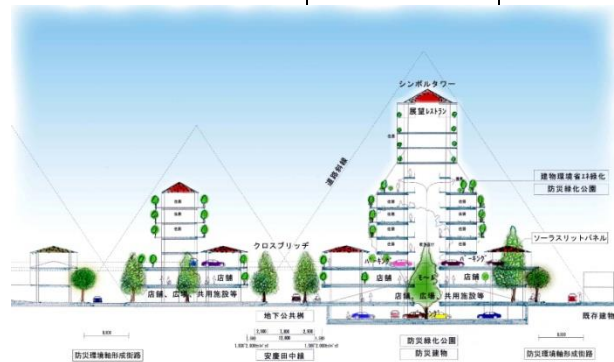
- [1] 略
- [2] 具体的事業の内容
- (1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 安慶田地区 土地区画整理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	沖縄市	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行うことで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行い、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備 総合交付金 (都市再生区画整理事業)</p> <p>○実施時期 H22～H27</p>	



安慶田地区鳥瞰イメージ



安慶田地区街区断面イメージ

(安慶田地区土地区画整理事業計画等委託業務報告書より)

6. 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等に関する事項

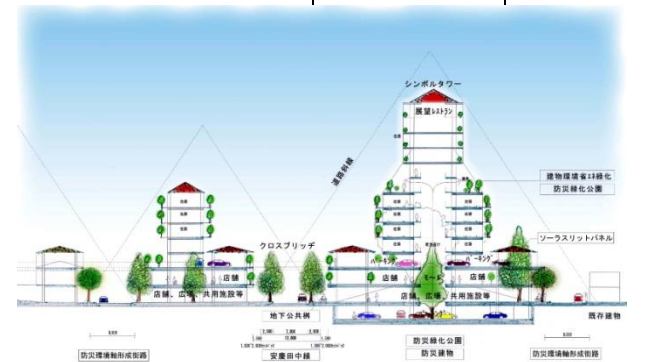
- [1] 略
- [2] 具体的事業の内容
- (1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 安慶田地区 土地区画整理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	沖縄市	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行うことで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行い、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備 総合交付金 (都市再生区画整理事業)</p> <p>○実施時期 H22～H26</p>	



安慶田地区鳥瞰イメージ



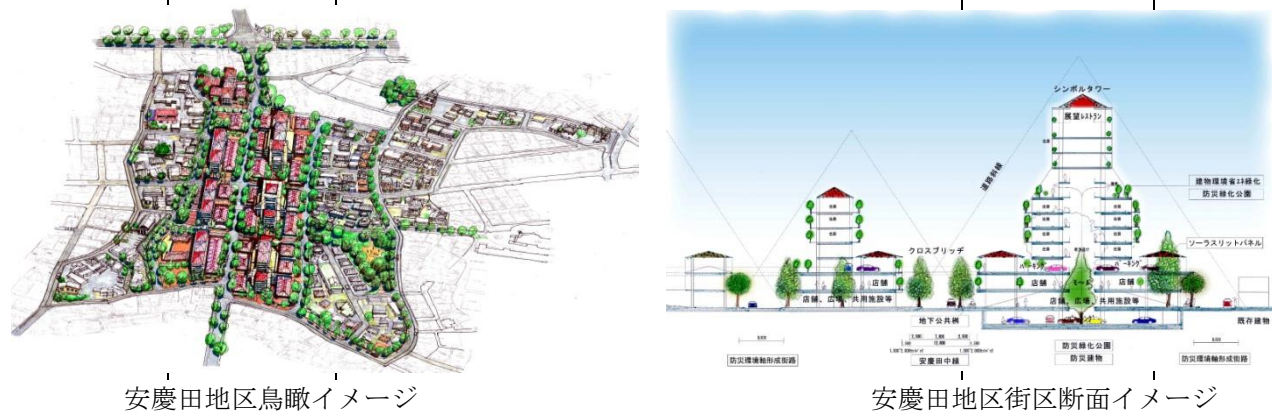
安慶田地区街区断面イメージ

(安慶田地区土地区画整理事業計画等委託業務報告書より)

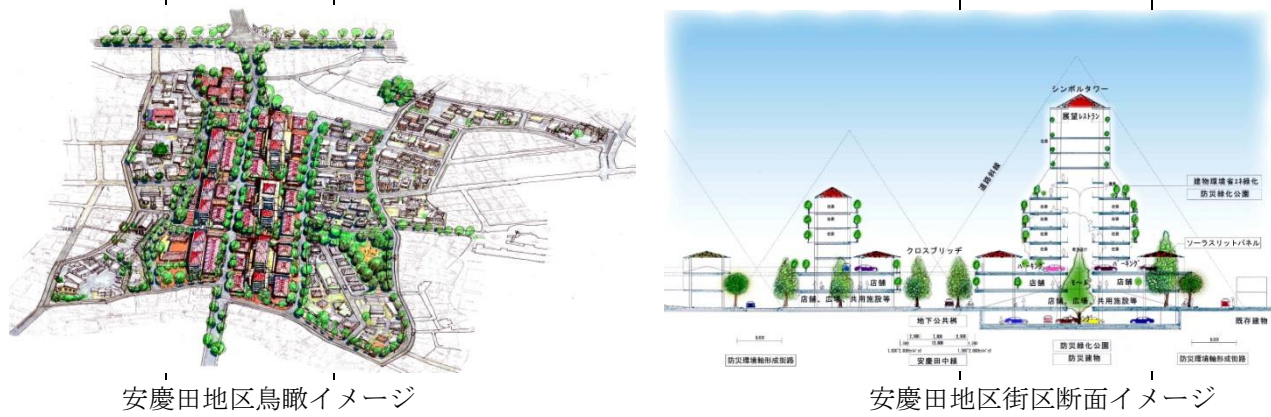


<p>○事業名 山里第一地区市街地再開発事業 【*再掲】</p> <p>○内容 まちなか居住等の推進のための第1種市街地再開発事業 区域面積 約1.3ha 延床面積 約24,000㎡</p> <p>○実施時期 H22～H27</p>	<p>沖縄市山里第一地区市街地再開発準備組合</p>	<p>○位置付け 多様な世帯に対応した住宅供給や社会福祉施設・医療施設などの立地促進によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 地域の生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業施設棟のほか、スポーツ施設など地域の生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備することにより、街なか居住の促進を図るものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）</p> <p>○実施時期 H24～H27</p>	<p>○事業名 山里第一地区市街地再開発事業 【*再掲】</p> <p>○内容 まちなか居住等の推進のための第1種市街地再開発事業 区域面積 約1.3ha 延床面積 約19,600㎡</p> <p>○実施時期 H22～H26</p>	<p>沖縄市山里第一地区市街地再開発準備組合</p>	<p>○位置付け 多様な世帯に対応した住宅供給や社会福祉施設・医療施設などの立地促進によりコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付ける。</p> <p>○必要性 地域の生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業施設棟のほか、スポーツ施設やタリニックスモール等、地域の生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備することにより、街なか居住の促進を図るものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p> <p><del>【事業予定】 平成22年度～23年度 —事業調整、都市計画決定、事業認可 平成24年度 —権利変換計画認可、実施設計 平成25年度 —工事着工 平成26年度 —工事完了（H26年10月竣工予定）—</del></p>	<p>○支援措置 社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）</p> <p>○実施時期 H24～H26</p>
 <p>全体イメージ</p>		 <p>計画平面イメージ</p>		 <p>全体イメージ</p>		 <p>計画平面イメージ</p>	
<p>(沖縄市山里第一地区市街地再開発事業の事業計画素案の概要より)</p>				<p>(沖縄市山里第一地区市街地再開発事業の事業計画素案の概要より)</p>			
<p>○事業名 沖縄市中心市街地定住促進事業 (略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>○事業名 沖縄市中心市街地定住促進事業 (略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 安慶田地区 土地区画整 理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整 理事業によ る幹線道路 や生活道路 等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	沖縄市	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行うことで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行い、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備 総合交付金 （道路事業 （区画））</p> <p>○実施時期 H22～H23</p>	
 <p>安慶田地区鳥瞰イメージ</p> <p>安慶田地区街区断面イメージ</p> <p>(安慶田地区土地区画整理事業計画等委託業務報告書より)</p>				
○事業名 安慶田市営 住宅建替え 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 安慶田地区 土地区画整 理事業 【*再掲】</p> <p>○内容 土地区画整 理事業によ る幹線道路 や生活道路 等の整備</p> <p>施行面積 8.7ha</p> <p>○実施時期 H21～H30</p>	沖縄市	<p>○位置付け 商業地に隣接する老朽化した密集住宅地である安慶田地区において、多様な世帯に対応した住宅供給やコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行うことで安心・安全な住環境が形成される。また、既存のコミュニティを維持しつつ、老朽密集住宅地の改善及び防災環境軸形成等を行い、安全・安心な住環境を形成し、街なか居住の促進を図るものであり、居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 社会資本整備 総合交付金 （道路事業 （区画））</p> <p>○実施時期 H22～H26</p>	
 <p>安慶田地区鳥瞰イメージ</p> <p>安慶田地区街区断面イメージ</p> <p>(安慶田地区土地区画整理事業計画等委託業務報告書より)</p>				
○事業名 安慶田市営 住宅建替え 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	

(3) 略

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 中心市街地共同住宅供給促進事業</p> <p>○内容 民間事業者への情報提供・協力などにより共同住宅の建設を誘発する。</p> <p>○実施時期 H23～</p>	沖縄市	<p>○位置付け 「中心市街地共同住宅供給事業」等を活用し、民間事業者の共同住宅建設を誘導することにより、中心市街地における住宅供給を促進、コミュニティの再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 本市の中心市街地はもともと公共交通の便がよく、公共機関も数多く立地しており、元来利便性の高い地域である。このようなまちの利便性をさらに活かすために民間の活力を導入し、居住空間を中心市街地に確保することは、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>		今後、中心市街地共同住宅供給事業の活用を検討する。

(3) 略

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 中心市街地共同住宅供給促進事業</p> <p>○内容 民間事業者への情報提供・協力などにより共同住宅の建設を誘発する。</p> <p>○実施時期 H23～<del>H26</del></p>	沖縄市	<p>○位置付け 「中心市街地共同住宅供給事業」等を活用し、民間事業者の共同住宅建設を誘導することにより、中心市街地における住宅供給を促進、コミュニティの再生を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 本市の中心市街地はもともと公共交通の便がよく、公共機関も数多く立地しており、元来利便性の高い地域である。このようなまちの利便性をさらに活かすために民間の活力を導入し、居住空間を中心市街地に確保することは、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>		今後、中心市街地共同住宅供給事業の活用を検討する。

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 胡屋地区リノベーション事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
○事業名 プロムナードコンサート事業 (略)	(略)	(略)	(略)	

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 胡屋地区リノベーション事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
○事業名 プロムナードコンサート事業 (略)	(略)	(略)	(略)	



○事業名 ミュージックタウン音市場事業 (略)	(略)	(略)	(略)			○事業名 ミュージックタウン音市場事業 (略)	(略)	(略)	(略)		
○事業名 ミュージックタウン推進事業（音のページェント事業）  ○内容 沖縄市の地域資源である音楽を活かしたまちづくり事業  ○実施時期 H20～	沖縄市	○位置付け ミュージックタウン音市場、音楽広場、ライブハウス及び商店街等において、本市の音楽によるまちづくりを発信する「音楽見本市」としてスタートし、H24年度からは沖縄の伝統音楽、民族芸能、民謡等にコンセプトを絞った音楽イベントとして開催。商店街等地域と連携したまちぐるみの音楽イベントとして、まちなかの効果的な回遊性をもたらす事業として位置付けている。  ○必要性 平成19年度に建設されたミュージックタウン音市場（音楽によるまちづくりの中核施設）を中心に、特色ある音楽・芸能イベントやストリートパフォーマンスの開催等によるまちの演出を図るものであり、音楽を通じたにぎわいづくりを推進する上で必要である。	○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業  ②沖縄振興特別推進市町村交付金  ○実施時期 ①H22～H24  ②H25～H27			○事業名 ミュージックタウン推進事業（音のページェント事業）  ○内容 沖縄市の地域資源である音楽を活かしたまちづくり事業  ○実施時期 H20～	沖縄市	○位置付け ミュージックタウン音市場、音楽広場、ライブハウス及び商店街等において、本市の音楽によるまちづくりを発信する「音楽見本市」としてスタートし、H24年度からは沖縄の伝統音楽、民族芸能、民謡等にコンセプトを絞った音楽イベントとして開催。商店街等地域と連携したまちぐるみの音楽イベントとして、まちなかの効果的な回遊性をもたらす事業として位置付けている。  ○必要性 平成19年度に建設されたミュージックタウン音市場（音楽によるまちづくりの中核施設）を中心に、特色ある音楽・芸能イベントやストリートパフォーマンスの開催等によるまちの演出を図るものであり、音楽を通じたにぎわいづくりを推進する上で必要である。	○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業  ②沖縄振興特別推進市町村交付金  ○実施時期 ①H22～H24  ②H25～H26		
<u>(3)に移設</u>						○事業名 ミュージックタウン推進事業（コンテンツプロデュース事業）  ○内容 音楽による産業振興を図る事業  ○実施時期 H21～	沖縄市	○位置付け 地域資源である沖縄市独特の街並みや音楽・芸能文化を活用した新たなコンテンツ（参加・体験メニューの観光商品化など）創出の方向性を示し、これらを民間事業として発展させることで、新規産業の創出や、継続的な雇用の場の創出を図る事業として位置付けている。  ○必要性 地域資源（食・芸能文化・ライブハウスなど）を組み合わせることで、新たな観光商品の開発やその他音楽に関連した新規産業の創出を図ることにより、新たな雇用機会や起業機会など、中心市街地において展開される様々なビジネスモデルの構築を行う上で必要である。	○支援措置 <u>中心市街地活性化ソフト事業</u>  ○実施時期 H22～H26		
○事業名 食とアートと交流の街づくり事業  ○内容 空き店舗を	沖縄市・沖縄市銀天街商店街振興組合	○位置付け 安全で快適に買い物が出来る商店街の環境づくりのために銀天街（コザ十字路地域）のシャッターを開け、空き店舗などを地域活動の場として積極的に活用することによりコミュニティ（地域力）や「従来の商店街の機能※」の再生を図るための事業として位置付けている。	○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業  ○実施時期 H22～H25			○事業名 食とアートと交流の街づくり事業  ○内容 空き店舗を	沖縄市・沖縄市銀天街商店街振興組合	○位置付け 安全で快適に買い物が出来る商店街の環境づくりのために銀天街（コザ十字路地域）のシャッターを開け、空き店舗などを地域活動の場として積極的に活用することによりコミュニティ（地域力）や「従来の商店街の機能※」の再生を図るための事業として位置付けている。	○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業  ○実施時期 H22～H26		

活用した地域再生支援 ○実施時期 H20～ <u>H25</u>		○必要性 銀天街地区の活性化に向けて「食とアートと交流の街づくり」をテーマとし、空き店舗の解消とともに地域コミュニティの再生を図り、顔の見える生活の場・学びの場としてのまちづくり、商店街のにぎわいづくりにつなげていく上で必要である。  ※①「商い」を行う場であるとともに、地域の住民が集うことで、お互いの顔が見える安心感【防犯セーフティネット】②地域全体で子どもたちを育てる認識【教育】③個人が持っている情報・知識・技術の交換といった教え合い・学び合いの精神【文化の継承】			活用した地域再生支援 ○実施時期 H20～		○必要性 銀天街地区の活性化に向けて「食とアートと交流の街づくり」をテーマとし、空き店舗の解消とともに地域コミュニティの再生を図り、顔の見える生活の場・学びの場としてのまちづくり、商店街のにぎわいづくりにつなげていく上で必要である。  ※①「商い」を行う場であるとともに、地域の住民が集うことで、お互いの顔が見える安心感【防犯セーフティネット】②地域全体で子どもたちを育てる認識【教育】③個人が持っている情報・知識・技術の交換といった教え合い・学び合いの精神【文化の継承】		
○事業名 商店街交流促進事業  ○内容 商店街等が実施する空き店舗活用事業に対する支援  ○実施時期 H19～	沖縄市・沖縄市工芸産業振興会・沖縄市シルバー人材センター・コザ商店街連合会	○位置付け 空き店舗などを地域活動の場として積極的に活用し、店舗の個性化・コンセプトの明確化を図る。さらには、商店街におけるコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けられている。  ○必要性 商店街等が自ら中心市街地の空き店舗を活用して、商店街の組織力強化や中心市街地のにぎわい創出、コミュニティの再生等を促進し、本市産業の振興を図るとともに、商店街のシャッターを開ける呼び水効果を促し中心市街地の活性化を実現する上で必要である。	○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業  ②社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）  ○実施時期 ①H22～H23、 <u>H25～H27</u>  ②H24		○事業名 商店街交流促進事業  ○内容 商店街等が実施する空き店舗活用事業に対する支援  ○実施時期 H19～	沖縄市・沖縄市工芸産業振興会・沖縄市シルバー人材センター・コザ商店街連合会	○位置付け 空き店舗などを地域活動の場として積極的に活用し、店舗の個性化・コンセプトの明確化を図る。さらには、商店街におけるコミュニティ（地域力）の再生を図る事業として位置付けられている。  ○必要性 商店街等が自ら中心市街地の空き店舗を活用して、商店街の組織力強化や中心市街地のにぎわい創出、コミュニティの再生等を促進し、本市産業の振興を図るとともに、商店街のシャッターを開ける呼び水効果を促し中心市街地の活性化を実現する上で必要である。	○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業  ②社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）  ○実施時期 ①H22～H23、 <u>H25～H26</u>  ②H24	
○事業名 商店街再生チャレンジショップ事業  ○内容 商店街の空き店舗への出店に係る支援	沖縄市	○位置付け 市と商店街等が協働して空き店舗対策を実施することにより、商店街の組織力を強化し商店街の活力を高めるとともに、中心市街地の賑わい創出など、中心市街地の活性化を図る事業として位置付けている。  ○必要性 商店街等の空き店舗を活用して営業を開始する事業者に対し支援を行うものであり、商店街の活性化及び中心市街地の賑わい創出を図る上で必要である。	○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業  ○実施時期 H26～ <u>H27</u>		○事業名 商店街再生チャレンジショップ事業  ○内容 商店街の空き店舗への出店に係る支援	沖縄市	○位置付け 市と商店街等が協働して空き店舗対策を実施することにより、商店街の組織力を強化し商店街の活力を高めるとともに、中心市街地の賑わい創出など、中心市街地の活性化を図る事業として位置付けている。  ○必要性 商店街等の空き店舗を活用して営業を開始する事業者に対し支援を行うものであり、商店街の活性化及び中心市街地の賑わい創出を図る上で必要である。	○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業  ○実施時期 H26	

○実施時期 H25～						○実施時期 H25～					
○事業名 商店街賑わ い創出事業	沖縄市・コ ザ商店街連 合会	○位置付け 商店街が自ら行うイベントの効果的な実施に より、まちの活性化を図る事業として位置付け ている。	○支援措置 中心市街地活 性化ソフト事 業			○事業名 商店街賑わ い創出事業	沖縄市・コ ザ商店街連 合会	○位置付け 商店街が自ら行うイベントの効果的な実施に より、まちの活性化を図る事業として位置付け ている。	○支援措置 中心市街地活 性化ソフト事 業		
○内容 地域イベン ト(商店街)		○必要性 街路樹等へのイルミネーション事業やイベン ト事業(ゲート#2フェスタ、セントパトリッ クスデイ他)等を開催し、商店街への誘客、イ メージアップ等を図るものであり、大型商業施 設との差別化を図り、商店街のにぎわいづくり を実現する上で必要である。	○実施時期 H22～H27			○内容 地域イベン ト(商店街)		○必要性 街路樹等へのイルミネーション事業やイベン ト事業(ゲート#2フェスタ、セントパトリッ クスデイ他)等を開催し、商店街への誘客、イ メージアップ等を図るものであり、大型商業施 設との差別化を図り、商店街のにぎわいづくり を実現する上で必要である。	○実施時期 H22～H26		
○実施時期 H20～						○実施時期 H20～					
○事業名 銀天街まつ り	沖縄市・沖 縄市銀天街 商店街振興 組合	○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気 を資源として積極的に活用し商業者と地域住民が 主体となり定期的なまつりを開催することで、 効果的なイベント展開を図る事業として位置付 けている。	○支援措置 中心市街地活 性化ソフト事 業			○事業名 銀天街まつ り	沖縄市・沖 縄市銀天街 商店街振興 組合	○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気 を資源として積極的に活用し商業者と地域住民が 主体となり定期的なまつりを開催することで、 効果的なイベント展開を図る事業として位置付 けている。	○支援措置 中心市街地活 性化ソフト事 業		
○内容 地域イベン ト(商店街)		○必要性 コザ十字路地域に位置する銀天街の活性化な ど充実発展に向け、「食とアートと交流の街」 をキャッチフレーズとしたイベントなどの事業 を企画運営するものであり、にぎわいづくりを 実現する上で必要である。	○実施時期 H22～H23			○内容 地域イベン ト(商店街)		○必要性 コザ十字路地域に位置する銀天街の活性化な ど充実発展に向け、「食とアートと交流の街」 をキャッチフレーズとしたイベントなどの事業 を企画運営するものであり、にぎわいづくりを 実現する上で必要である。	○実施時期 H22～H26		
○実施時期 H14～H25						○実施時期 H14～					
○事業名 沖縄市ファ ッションタ ウン推進事 業 (略)	(略)	(略)	(略)			○事業名 沖縄市ファ ッションタ ウン推進事 業 (略)	(略)	(略)	(略)		
○事業名 エイサーの まち推進事 業	沖縄市	○位置付け 「エイサーのまち沖縄市」として地域資源で ある伝統文化のエイサーを積極的に活用し、イ ベントの実施体制・計画等の効果的なあり方を 図るとともに次世代の育成に結びつけるなど、 エイサーによるまちづくりを推進するための事 業として位置付けている。	○支援措置 ①中心市街地 活性化ソフト 事業  ②社会資本整 備総合交付金 (暮らし・に ぎわい再生事 業(コリンザ			○事業名 エイサーの まち推進事 業	沖縄市	○位置付け 「エイサーのまち沖縄市」として地域資源で ある伝統文化のエイサーを積極的に活用し、イ ベントの実施体制・計画等の効果的なあり方を 図るとともに次世代の育成に結びつけるなど、 エイサーによるまちづくりを推進するための事 業として位置付けている。	○支援措置 ①中心市街地 活性化ソフト 事業  ②社会資本整 備総合交付金 (暮らし・に ぎわい再生事 業(コリンザ		
○内容 伝統芸能文 化であるエイ サーを積		○必要性				○内容 伝統芸能文 化であるエイ サーを積		○必要性			



<p>極活用したまちづくり事業の展開</p> <p>○実施時期 H19～</p>		<p>沖縄市の地域資源であるエイサーを活用したまちづくりの機運が高まっており、具現化に向けた取り組みが求められている。<b>観光</b>振興計画による計画的な事業展開やエイサーを活かした商品開発・観光ツアーを展開し中心市街地を震源地としてまち全体のにぎわいづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>地区) と一体の効果促進事業)</p> <p>③沖縄振興特別推進市町村交付金</p> <p>○実施時期 ①H22～H23 ②H24 ③H25～<b>H27</b></p>		<p>極活用したまちづくり事業の展開</p> <p>○実施時期 H19～</p>		<p>沖縄市の地域資源であるエイサーを活用したまちづくりの機運が高まっており、具現化に向けた取り組みが求められている。<b>エイサー</b>振興計画による計画的な事業展開やエイサーを活かした商品開発・観光ツアーを展開し中心市街地を震源地としてまち全体のにぎわいづくりを実現する上で必要である。</p>	<p>地区) と一体の効果促進事業)</p> <p>③沖縄振興特別推進市町村交付金</p> <p>○実施時期 ①H22～H23 ②H24 ③H25～<b>H26</b></p>	
<p>○事業名 沖縄全島エイサーまつり</p> <p>○内容 地域イベント(伝統芸能)</p> <p>○実施時期 S49～</p>	<p>沖縄全島エイサーまつり実行委員会・沖縄市</p>	<p>○位置付け 地域資源であるエイサーを積極的に活用することにより活用・実践の場を伴う人材育成とともに観光産業発展のための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 伝統芸能エイサーの継承発展、青少年の育成さらには「エイサーのまち沖縄市」としての発展を目指し、沖縄最大のエイサー祭り「沖縄全島エイサーまつり」を開催するものであり、中心市街地に人を呼び込みにぎわいづくりにつなげていく上で必要である。</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H22～<b>H27</b></p>		<p>○事業名 沖縄全島エイサーまつり</p> <p>○内容 地域イベント(伝統芸能)</p> <p>○実施時期 S49～</p>	<p>沖縄全島エイサーまつり実行委員会・沖縄市</p>	<p>○位置付け 地域資源であるエイサーを積極的に活用することにより活用・実践の場を伴う人材育成とともに観光産業発展のための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 伝統芸能エイサーの継承発展、青少年の育成さらには「エイサーのまち沖縄市」としての発展を目指し、沖縄最大のエイサー祭り「沖縄全島エイサーまつり」を開催するものであり、中心市街地に人を呼び込みにぎわいづくりにつなげていく上で必要である。</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H22～<b>H26</b></p>	
<p>○事業名 ピースフルラブ・ロックフェスティバル</p> <p>○内容 地域イベント(音楽)</p> <p>○実施時期 S58～</p>	<p>ピースフルラブ・ロックフェスティバル実行委員会・沖縄市</p>	<p>○位置付け 地域資源である音楽を積極的に活用し、中心市街地内の商店街に数多くあるライブハウスなどと連携した活用・実践の場を伴う人材育成のための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 真夏の一大イベントであるピースフルラブ・ロックフェスティバルを開催することにより、観光客の誘客拡大や観光関連産業の活性化を図るものであり、中心市街地に人を呼び込みにぎわいづくりにつなげていく上で必要である。</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H22～<b>H27</b></p>		<p>○事業名 ピースフルラブ・ロックフェスティバル</p> <p>○内容 地域イベント(音楽)</p> <p>○実施時期 S58～</p>	<p>ピースフルラブ・ロックフェスティバル実行委員会・沖縄市</p>	<p>○位置付け 地域資源である音楽を積極的に活用し、中心市街地内の商店街に数多くあるライブハウスなどと連携した活用・実践の場を伴う人材育成のための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 真夏の一大イベントであるピースフルラブ・ロックフェスティバルを開催することにより、観光客の誘客拡大や観光関連産業の活性化を図るものであり、中心市街地に人を呼び込みにぎわいづくりにつなげていく上で必要である。</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H22～<b>H26</b></p>	
<p>○事業名 沖縄国際カーニバル</p> <p>○内容 地域イベント(国際文化観光)</p>	<p>沖縄国際カーニバル実行委員会・沖縄市</p>	<p>○位置付け 100人に1人の割合で外国人が住んでいる沖縄市において、多くの国々の人々が交流を持つ拠点の形成に向け、また、コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気資源として積極的に活用するための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 沖縄市の個性を強烈に印象付けるコザゲート</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H22～<b>H27</b></p>		<p>○事業名 沖縄国際カーニバル</p> <p>○内容 地域イベント(国際文化観光)</p>	<p>沖縄国際カーニバル実行委員会・沖縄市</p>	<p>○位置付け 100人に1人の割合で外国人が住んでいる沖縄市において、多くの国々の人々が交流を持つ拠点の形成に向け、また、コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気資源として積極的に活用するための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 沖縄市の個性を強烈に印象付けるコザゲート</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H22～<b>H26</b></p>	

○実施時期 S50～		通りをはじめとする胡屋地域において、カーニバル開催により市民の融和と産業の活性化を図るとともに、国際色豊かで音楽や芸能を中心に文化活動の盛んな本市の特性を内外にアピールすることで観光客の誘客につなげ、にぎわいづくりを実現する上で必要である。				○実施時期 S50～		通りをはじめとする胡屋地域において、カーニバル開催により市民の融和と産業の活性化を図るとともに、国際色豊かで音楽や芸能を中心に文化活動の盛んな本市の特性を内外にアピールすることで観光客の誘客につなげ、にぎわいづくりを実現する上で必要である。		
○事業名 工芸による街づくり事業	沖縄市・沖縄市工芸フェア実行委員会	○位置付け 工芸産業振興会及び沖縄市工芸フェア実行委員会は、「沖縄市工芸による街づくり事業」を推進する一環として、工芸産業の振興に関する情報発信及び工芸作品の作り手と使う人との交流の場を提供することにより、工芸に対する市民の意識啓発や工芸従事者の生産意欲の高揚、販路拡充に向けた積極的な事業展開を図ることを目的としている。	○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業 ②沖縄振興特別推進市町村交付金			○事業名 工芸による街づくり事業	沖縄市・沖縄市工芸フェア実行委員会	○位置付け 工芸産業振興会及び沖縄市工芸フェア実行委員会は、「沖縄市工芸による街づくり事業」を推進する一環として、工芸産業の振興に関する情報発信及び工芸作品の作り手と使う人との交流の場を提供することにより、工芸に対する市民の意識啓発や工芸従事者の生産意欲の高揚、販路拡充に向けた積極的な事業展開を図ることを目的としている。	○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業 ②沖縄振興特別推進市町村交付金	
○内容 地域ブランドの創出、人材育成	沖縄市工芸産業振興会	○必要性 沖縄市が、平成12年度より推進している「沖縄市工芸による街づくり事業」のなかで、本市の伝統工芸「知花花織」の復興事業の成果PRの場として重要であり、沖縄市工芸コンテストでは市内県内から多くの工芸品が出品され、若手工芸家らの登竜門としてのステータスを築きつつある。また、県内外へ広く発信し参加を呼び掛け、異業種間交流による切磋琢磨を通し、更なる技術高揚や市内の工芸従事者の生産意欲の高揚に繋げることにより、工芸産業の振興及び地域振興へ大きく寄与する事業として必要である。	○実施時期 ①H22～H23 ②H24～H27			○内容 地域ブランドの創出、人材育成	沖縄市工芸産業振興会	○必要性 沖縄市が、平成12年度より推進している「沖縄市工芸による街づくり事業」のなかで、本市の伝統工芸「知花花織」の復興事業の成果PRの場として重要であり、沖縄市工芸コンテストでは市内県内から多くの工芸品が出品され、若手工芸家らの登竜門としてのステータスを築きつつある。また、県内外へ広く発信し参加を呼び掛け、異業種間交流による切磋琢磨を通し、更なる技術高揚や市内の工芸従事者の生産意欲の高揚に繋げることにより、工芸産業の振興及び地域振興へ大きく寄与する事業として必要である。	○実施時期 ①H22～H23 ②H24～H26	
○実施時期 H12～						○実施時期 H12～				
○事業名 中心市街地活性化支援事業	沖縄市	○位置付け 商店街に不足している機能として、活性化対策を展開・実施・支援する人材があげられる。そのような中、商店街の組織力強化とともに店舗の個性化、コンセプトの明確化を図りながら活用・実践の場を伴う人材育成につなげていく事業として位置付けている。	○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業			○事業名 中心市街地活性化支援事業	沖縄市	○位置付け 商店街に不足している機能として、活性化対策を展開・実施・支援する人材があげられる。そのような中、商店街の組織力強化とともに店舗の個性化、コンセプトの明確化を図りながら活用・実践の場を伴う人材育成につなげていく事業として位置付けている。	○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業	
○内容 中心市街地活性化支援員の導入 コザ講座 (商人塾・創業塾)の開催 効果的な戦略事業の展開・実施に対する調		○必要性 中心商店街は、中小零細企業が多く、商店街の経営基盤も脆弱なものとなっていることから、市と商店街との調整役を担う中心市街地活性化支援員を導入し、各商店街が抱える課題解決に向けた指導助言を行うと共に、戦略事業の具体化のための調査から展開・実施に対する支援を行なう。これらは、商店街の賑わいづくり、地域活性化のための人づくりを実現する上で必	○実施時期 H23～H27			○内容 中心市街地活性化支援員の導入 コザ講座 (商人塾・創業塾)の開催		○必要性 中心商店街は、中小零細企業が多く、商店街の経営基盤も脆弱なものとなっていることから、市と商店街との調整役を担う中心市街地活性化支援員を導入し、各商店街が抱える課題解決に向けた指導助言を行うと共に、戦略事業の展開・実施・支援を行ない、商店街の賑わいづくり、地域活性化のための人づくりを実現する上で必要である。	○実施時期 H23～H26	
						○実施時期 H20～				

<p><u>査・支援等</u></p> <p>○実施時期 H20～</p>		<p>要である。</p>								
<p>○事業名 沖縄市戦後文化資料等展示事業</p> <p>○内容 資料展示、歴史・文化講座（講演会）、研究叢書の発刊等</p> <p>○実施時期 H17～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気や資源として積極的に展開するために空き店舗を活用し、情報発信を行うことでまちの効果的な回遊性を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 空き店舗を活用し設置した沖縄市戦後文化資料等展示室（ヒストリート）を中心に沖縄戦後文化の情報発信を行い、街なかへの誘客を図るとともに、本市の歴史や文化に関する市民の学習機会を拡充するものであり、街なかでのにぎわいづくり、人づくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H23～H27</p>			<p>○事業名 沖縄市戦後文化資料等展示事業</p> <p>○内容 資料展示、歴史・文化講座（講演会）、研究叢書の発刊等</p> <p>○実施時期 H17～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気や資源として積極的に展開するために空き店舗を活用し、情報発信を行うことでまちの効果的な回遊性を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 空き店舗を活用し設置した沖縄市戦後文化資料等展示室（ヒストリート）を中心に沖縄戦後文化の情報発信を行い、街なかへの誘客を図るとともに、本市の歴史や文化に関する市民の学習機会を拡充するものであり、街なかでのにぎわいづくり、人づくりを実現する上で必要である。</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H23～H26</p>	
<p>○事業名 こどものまち推進事業</p> <p>○内容 沖縄こども未来ゾーンを拠点とした、こどものまち推進事業</p> <p>○実施時期 H20～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け こどもたちが元気に夢に向かってたくましく育つ環境をつくることを目的に、こどもを核とした各種施策を体系的・戦略的に展開する事業として位置付けられている。また、そのことによりこどものまちを推進する人材の育成等も実施している。</p> <p>○必要性 こどもたちにやさしいまちづくりを進める上で、コミュニティ（地域力）の再生に取り組むために、事業の柱として、①「ネットワークづくり」、②「人づくり」、③「場づくり」を展開していくものであり、核家族化・都市化現象が進行するなかで、こどもたちを見守り育ていく地域社会を構築していく上で必要である。 *市民との協働を重視しながら、沖縄こども未来ゾーンを拠点に、こどものまちを推進していく。 <u>*こども議会を開催し、こどもたちの視点からまちづくりに対する調査・研究・提言等を行う。</u></p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H23～H27</p>			<p>○事業名 こどものまち推進事業</p> <p>○内容 沖縄こども未来ゾーンを拠点とした、こどものまち推進事業</p> <p>○実施時期 H20～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け こどもたちが元気に夢に向かってたくましく育つ環境をつくることを目的に、こどもを核とした施策を展開、こども文化を発信していくとともに、こどもたちを支える人材を育成し、こどものまちを推進していくための人材の活用・実践の場を創出する事業として位置付けられている。</p> <p>○必要性 こどもたちにやさしいまちづくりを進める上で、コミュニティ（地域力）の再生に取り組むために、事業の柱として、①「ネットワークづくり」、②「人づくり」、③「場づくり」を展開していくものであり、核家族化・都市化現象が進行するなかで、こどもたちを見守り育ていく地域社会を構築していく上で必要である。 *市民との協働を重視しながら、沖縄こども未来ゾーンを拠点に、こどものまちを推進していく。 <del>*こどものまち宣言については、沖縄市活性化100人委員会こどものまち宣言部会によって宣言草案が作成された。</del></p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>○実施時期 H23～H26</p>	
<p>○事業名 プロムナードコンサート支援事業</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 沖縄市の地域資源である音楽文化を活用した中心市街地におけるまちなかコンサートを開催し、地域の認知度を高めコザへの誘客を促し、</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p>			<p>○事業名 プロムナードコンサート支援事業</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 沖縄市の地域資源である音楽文化を活用した中心市街地におけるまちなかコンサートを開催し、地域の認知度を高めコザへの誘客を促し、</p>	<p>○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p>	



<p>○内容 音楽によるまちづくりをPRするため沖縄商工会議所が実施するコンサート事業を支援する。</p> <p>○実施時期 H23～</p>		<p>地域の活性化と文化力向上のための事業として位置付けられている。</p> <p>○必要性 沖縄市の小・中・高校の吹奏楽については、コンクールにおいて全国大会へ出場するなど非常にレベルが高い。また、中心市街地には、ライブハウス等が多数存在し、本市出身のミュージシャンが活躍している。このような地域資源を最大限活かし、プロムナードコンサート事業を実施し、中心市街地の商店街等の活性化とにぎわいの創出、音楽に係る人材育成、音楽文化の振興を図るために必要である。</p>	<p>○実施時期 H23～<u>H27</u></p>		<p>○内容 音楽によるまちづくりをPRするため沖縄商工会議所が実施するコンサート事業を支援する。</p> <p>○実施時期 H23～</p>		<p>地域の活性化と文化力向上のための事業として位置付けられている。</p> <p>○必要性 沖縄市の小・中・高校の吹奏楽については、コンクールにおいて全国大会へ出場するなど非常にレベルが高い。また、中心市街地には、ライブハウス等が多数存在し、本市出身のミュージシャンが活躍している。このような地域資源を最大限活かし、プロムナードコンサート事業を実施し、中心市街地の商店街等の活性化とにぎわいの創出、音楽に係る人材育成、音楽文化の振興を図るために必要である。</p>	<p>○実施時期 H23～<u>H26</u></p>	
<p>○事業名 中心<u>商店街</u>駐車場利用促進事業</p> <p>○内容 中心商店街における駐車場利用促進のために一定時間利用券を配付する事業</p> <p>○実施時期 H23～<u>H27</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 中心市街地における商業機能の再生を目指すとともに、中心市街地における民間駐車場の利用促進を図り、商店街のにぎわい創出に寄与する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 中心市街地に誘客を図るため、商店街利用者を対象として一定時間の無料利用券を配布し、民間駐車場の利用を促すことにより、商店街のにぎわい創出と商店街周辺に駐車場が多くあることを広く認知させるために必要である。</p>	<p>○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業 ②社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）</p> <p>○実施時期 ①H23、H25～<u>H27</u> ②H24</p>		<p>○事業名 中心<u>市街地</u>駐車場利用促進事業</p> <p>○内容 中心商店街における駐車場利用促進のために一定時間利用券を配付する事業</p> <p>○実施時期 H23～<u>H26</u></p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 中心市街地における商業機能の再生を目指すとともに、中心市街地における民間駐車場の利用促進を図り、商店街のにぎわい創出に寄与する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 中心市街地に誘客を図るため、商店街利用者を対象として一定時間の無料利用券を配布し、民間駐車場の利用を促すことにより、商店街のにぎわい創出と商店街周辺に駐車場が多くあることを広く認知させるために必要である。</p>	<p>○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業 ②社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）</p> <p>○実施時期 ①H23、H25～<u>H26</u> ②H24</p>	
<p>○事業名 沖縄市中心市街地産業集積支援事業</p> <p>○内容 中心市街地への産業集積を図るため開業に要する設備等に対し補助を行う。</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 中心市街地における雇用創出および産業振興を図ることを目的とし、それによる周辺地域への波及効果とにぎわいを創出する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 中心市街地における雇用機会の創出と個人起業家の起業機会を創出するとともに、中心市街地に産業集積を図ることにより、まちのにぎわい創出と中心市街地の再生を行うための事業として必要である。</p>	<p>○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業 ②社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）</p> <p>○実施時期</p>		<p>○事業名 沖縄市中心市街地産業集積支援事業</p> <p>○内容 中心市街地への産業集積を図るため開業に要する設備等に対し補助を行う。</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 中心市街地における雇用創出および産業振興を図ることを目的とし、それによる周辺地域への波及効果とにぎわいを創出する事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 中心市街地における雇用機会の創出と個人起業家の起業機会を創出するとともに、中心市街地に産業集積を図ることにより、まちのにぎわい創出と中心市街地の再生を行うための事業として必要である。</p>	<p>○支援措置 ①中心市街地活性化ソフト事業 ②社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）</p> <p>○実施時期</p>	

○実施時期 H23～			①H23、H25～ H27 ②H24			○実施時期 H23～			①H23、H25～ H26 ②H24		
○事業名 自主文化事業（芸能公演事業支援）	沖縄市	○位置付け 本市の文化事業の課題である地元の文化事業に係る人材育成、人材活用等の課題解決と琉球舞踊などの伝統芸能を活かした文化による市の活性化を図る芸能公演支援として位置付けている。	○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業			○事業名 自主文化事業（芸能公演事業支援）	沖縄市	○位置付け 本市の文化事業の課題である地元の文化事業に係る人材育成、人材活用等の課題解決と琉球舞踊などの伝統芸能を活かした文化による市の活性化を図る芸能公演支援として位置付けている。	○支援措置 中心市街地活性化ソフト事業		
○内容 人材の育成・発掘と中心市街地への集客促進、にぎわい創出に寄与する芸能公演への支援事業		○必要性 これまでキジムナーフェスタにおいて海外からの招聘作品が多く、地元の人材を活用した地元劇場からの公演がないことから、豊富にある地域資源の活用がなされていなかったため、今後の文化事業の推進として、中堅および若手舞踊家の育成、さらには制作や演出、舞台スタッフ等の裏方の人材育成・発掘にもつながる文化事業の発展に大きく貢献する事業として必要である。	○実施時期 H23～H25			○内容 人材の育成・発掘と中心市街地への集客促進、にぎわい創出に寄与する芸能公演への支援事業		○必要性 これまでキジムナーフェスタにおいて海外からの招聘作品が多く、地元の人材を活用した地元劇場からの公演がないことから、豊富にある地域資源の活用がなされていなかったため、今後の文化事業の推進として、中堅および若手舞踊家の育成、さらには制作や演出、舞台スタッフ等の裏方の人材育成・発掘にもつながる文化事業の発展に大きく貢献する事業として必要である。	○実施時期 H23～H26		
○実施時期 H23～H25						○事業名 沖縄市中心市街地循環バス事業	沖縄市	○位置付け 中心市街地の中心拠点となる胡屋地区において、コザ運動公園、市民会館、こどもの国及びミュージックタウンを結ぶ交通機能として、循環バス有料化・無料化および運行主体の検討を含めた実証実験を行い、中心部の回遊性を高める事業として位置付ける。	○支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）		
○事業名 沖縄市中心市街地循環バス事業	沖縄市	○位置付け 中心市街地の中心拠点となる胡屋地区において、コザ運動公園、市民会館、こどもの国及びミュージックタウンを結ぶ交通機能として、循環バス有料化・無料化および運行主体の検討を含めた実証実験を行い、中心部の回遊性を高める事業として位置付ける。	○支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）			○内容 ミュージックタウンとこどもの国、コザ運動公園の回遊性を高めるための循環バス事業		○必要性 循環バスには、沖縄市の中心地の飲食店やライブハウスなどの情報提供及びこどもの国の琉球弧の動物の資料展示やエイサーバナーの展示など本市の持つ地域文化・芸能等の魅力を発信し、来街者・市民に対する情報発信機能と中心市街地への回遊性を誘導する事業として必要である。	○実施時期 H23～H26		
○実施時期 H23～			○実施時期 H23～H27			○事業名 沖縄市中心市街地循環バス事業	沖縄市	○位置付け 中心市街地の中心拠点となる胡屋地区において、コザ運動公園、市民会館、こどもの国及びミュージックタウンを結ぶ交通機能として、循環バス有料化・無料化および運行主体の検討を含めた実証実験を行い、中心部の回遊性を高める事業として位置付ける。	○支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）		
○事業名 胡屋地区商店街商業環境整備事業（略）	(略)	(略)	(略)			○事業名 胡屋地区商店街商業環境整備事業（略）	(略)	(略)	(略)		

○事業名 中心市街地 情報発信支 援事業(コザ インフォメーション センター) (略)	(略)	(略)	(略)		○事業名 中心市街地 情報発信支 援事業(コザ インフォメーション センター) (略)	(略)	(略)	(略)	
○事業名 中心市街地 市民活動交 流推進事業  ○内容 コミュニテ ィ再生のた めの交流広 場の設置を 行う  ○実施時期 H23～	沖縄市	○位置付け 中心市街地においてNPO等の市民活動の活 動情報の提供、商店街等におけるコミュニテ ィの再生を目的として「市民活動交流ひろば」を 設置する。  ○必要性 市民活動を積極的に支援するとともにNPO間 の連携及び市民へのNPOの情報を積極的に発 信することにより、行政・市民・市民団体が協 働によるまちづくりを推進し、中心市街地の活 性化に寄与する事業として必要である。	○支援措置 ①緊急雇用創 出事業（重点 分野）  ②社会資本整 備総合交付金 （暮らし・に ぎわい再生事 業（コリンザ 地区）と一体 の効果促進事 業）  ○実施時期 ①H23  ②H24～H27		○事業名 中心市街地 市民活動交 流推進事業  ○内容 コミュニテ ィ再生のた めの交流広 場の設置を 行う  ○実施時期 H23～	沖縄市	○位置付け 中心市街地においてNPO等の市民活動の活 動情報の提供、商店街等におけるコミュニテ ィの再生を目的として「市民活動交流ひろば」を 設置する。  ○必要性 市民活動を積極的に支援するとともにNPO間 の連携及び市民へのNPOの情報を積極的に発 信することにより、行政・市民・市民団体が協 働によるまちづくりを推進し、中心市街地の活 性化に寄与する事業として必要である。	○支援措置 ①緊急雇用創 出事業（重点 分野）  ②社会資本整 備総合交付金 （暮らし・に ぎわい再生事 業（コリンザ 地区）と一体 の効果促進事 業）  ○実施時期 ①H23  ②H24～H26	
○事業名 クリエイタ ー支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)		○事業名 クリエイタ ー支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
○事業名 コザ A ラン チ選手権  ○内容 コザ A ラン チ選手権の 支援  ○実施時期 H23～	沖縄市 コザ A ラン チ選手権実 行委員会	○位置付け 沖縄市の国際色豊かなフードメニューである A ランチを活用したイベントとして「コザ A ラン チ選手権」を開催することで、中心市街地の賑 わい創出と飲食業者および地域の活性化を図る 事業として位置付けている。  ○必要性 地域資源である A ランチを活用したイベン トを開催することで事業者の育成に取り組む事 業であり、中心市街地の賑わい創出及び商業の活 性化を図るために必要である。	○支援措置 中心市街地ソ フト事業  ○実施時期 H26～H27		○事業名 コザ A ラン チ選手権  ○内容 コザ A ラン チ選手権の 支援  ○実施時期 H23～	沖縄市 コザ A ラン チ選手権実 行委員会	○位置付け 沖縄市の国際色豊かなフードメニューである A ランチを活用したイベントとして「コザ A ラン チ選手権」を開催することで、中心市街地の賑 わい創出と飲食業者および地域の活性化を図る 事業として位置付けている。  ○必要性 地域資源である A ランチを活用したイベン トを開催することで事業者の育成に取り組む事 業であり、中心市街地の賑わい創出及び商業の活 性化を図るために必要である。	○支援措置 中心市街地ソ フト事業  ○実施時期 H26	



<p>○事業名 ICT 活用情報発信事業</p> <p>○内容 ホームページ及びメディア配信による情報発信、Wi-Fiを活用した来街者の利便性向上</p> <p>○実施時期 H27～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 本事業では、中心市街地に集積するコザ文化や沖縄こどもの国、スポーツ施設等に関する店舗や施設、観光、イベントに関する情報等を一元化しホームページ及びメディア配信による情報発信を行なうとともに、中心市街地の主要施設等に設置した Wi-Fi を活用し、来街者への情報発信を行うことにより、観光誘客につなげ、イベント集客増による中心市街地の活性化を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 中心市街地では多くのイベントやコザ文化を象徴する店舗等が数多くあり、様々な事業が展開されているが、集客等に苦慮しているところである。そのため、効果的かつ適切な情報発信を行い、にぎわいを創出するために必要である。</p>	<p>○支援措置 中心市街地ソフト事業</p> <p>○実施時期 H27</p>			<p>新規追加</p>							
<p>○事業名 沖縄市音楽によるまちづくり推進事業</p> <p>○内容 ミュージックタウン音市場やその周辺地域での音楽イベントの開催</p> <p>○実施時期 H22～</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置づけ 本市の地域資源である音楽等を活用したイベント等を開催し地域活性化を図るための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 ミュージックタウン音市場やその周辺地域にて展開されるイベント等を開催することで音楽によるにぎわい創出と観光客の誘致を図る上で必要である。</p>	<p>○支援措置 中心市街地ソフト事業</p> <p>○実施時期 H27</p>			<p>新規追加</p>							
<p>○事業名 IT人材育成事業</p> <p>○内容 IT社会に対応する人材を育成する</p> <p>○実施時期</p>	<p>沖縄市</p>	<p>○位置付け 中心市街地における新たな就労機会の創出、周辺地元商店街の再活性化、市民の情報リテラシーの向上、沖縄市へのマルチメディア関連産業誘致の促進を図るため、必要な情報通信環境を備えた共同利用型の施設として設置されたテレワークセンターにおいて、具体的に活用・実践の場を伴う人材育成を目指す事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 平成27年度に中心市街地内に新たに雇用促進</p>	<p>○支援措置 中心市街地ソフト事業</p> <p>○実施時期 H27</p>			<p>(4)からの移設</p>							

H12～		施設が整備されることから、本事業を併せて実施することで中心市街地内に市民の雇用の場を創出するなどにより昼間人口を増加させ、中心市街地の活性化につなげるため必要な事業である。										
(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業					(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業							
事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項	事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項			
<p>○事業名 沖縄市中心市街地活性化協議会事務局支援事業</p> <p>○内容 中心市街地活性化協議会にタウンマネージャーを配置し、関係機関との意見調整や商店街等への支援、まちづくり会社の設立支援、テナントミックスやエリアマネジメント等の調査研究、人材育成等を実施</p> <p>○実施時期 H24～</p>	<p>NPO法人 コザまち社 中</p>	<p>○位置付け 中心市街地活性化協議会にタウンマネージャーを配置することにより、関連機関との意見調整をはじめ、中心市街地商店街等への支援、まちづくり会社の設立支援、テナントミックスやエリアマネジメント等の調査研究、人材育成等を実施し、中心市街地活性化協議会を中心とした活性化事業の円滑な推進を図るための事業として位置づけている。</p> <p>○必要性 中心市街地においては、様々な主体が中心となって活性化事業を展開し、賑わい創出を図っているところである。今後は更に効果的な賑わいの創出を図るため、テナントミックスによる空き店舗対策事業や市場再生事業等が求められているほか、国道拡幅等による関係者のコンセンサス形成や持続可能なまちづくり会社設立へ向けた支援なども課題となっている。これらの課題解決や事業展開にあたって、コーディネーターとしての中心的な役割を果たすタウンマネージャーを中心市街地活性化協議会に配置し、活性化事業の円滑な推進を図る必要がある。</p>	<p>○支援措置 ①戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金 ②中心市街地魅力発掘・創造支援事業費補助金（専門人材活用支援事業） ③中心市街地再興戦略事業費補助金（専門人材活用支援事業）</p> <p>○実施時期 ①H24 ②H25 ③H26～H27</p>		<p>○事業名 沖縄市中心市街地活性化協議会事務局支援事業</p> <p>○内容 中心市街地活性化協議会にタウンマネージャーを配置し、関係機関との意見調整や商店街等への支援、まちづくり会社の設立支援、テナントミックスやエリアマネジメント等の調査研究、人材育成等を実施</p> <p>○実施時期 H24～</p>	<p>NPO法人 コザまち社 中</p>	<p>○位置付け 中心市街地活性化協議会にタウンマネージャーを配置することにより、関連機関との意見調整をはじめ、中心市街地商店街等への支援、まちづくり会社の設立支援、テナントミックスやエリアマネジメント等の調査研究、人材育成等を実施し、中心市街地活性化協議会を中心とした活性化事業の円滑な推進を図るための事業として位置づけている。</p> <p>○必要性 中心市街地においては、様々な主体が中心となって活性化事業を展開し、賑わい創出を図っているところである。今後は更に効果的な賑わいの創出を図るため、テナントミックスによる空き店舗対策事業や市場再生事業等が求められているほか、国道拡幅等による関係者のコンセンサス形成や持続可能なまちづくり会社設立へ向けた支援なども課題となっている。これらの課題解決や事業展開にあたって、コーディネーターとしての中心的な役割を果たすタウンマネージャーを中心市街地活性化協議会に配置し、活性化事業の円滑な推進を図る必要がある。</p>	<p>○支援措置 ①戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金 ②中心市街地魅力発掘・創造支援事業費補助金（専門人材活用支援事業） ③中心市街地再興戦略事業費補助金（専門人材活用支援事業）</p> <p>○実施時期 ①H24 ②H25 ③H26</p>				
<p>○事業名 GATEWAY TO RYCOM ANTHROPOLOGY (略)</p>	(略)	(略)	(略)		<p>○事業名 GATEWAY TO RYCOM ANTHROPOLOGY (略)</p>	(略)	(略)	(略)				
<p><u>○事業名</u> <u>一番街リノベーション事業</u></p> <p><u>○内容</u> <u>空き店舗を活</u></p>	<p><u>沖縄市一番街商店街振興組合・特定非営利活動法人初穂</u></p>	<p><u>○位置付け</u> <u>一番街リノベーション事業では、商環境の悪循環の原因となっている長期空き店舗物件を改修し、商店街の不足業種を再配置することで、地域住民及び近隣就業者等の憩いの場を創出し、生活の中の商店街として、まちのイメージ</u></p>	<p><u>○支援措置</u> <u>地域商業自立促進事業</u></p> <p><u>○実施時期</u></p>		<p><u>新規追加</u></p>							

<p>用したコミュニティカフェの設置、運営</p> <p>○実施時期 H26～</p>		<p><u>アップにつながる事業と位置づけている。</u></p> <p>H26</p>		
<p>○事業名 銀天街商店街再生（リポーン）調査事業</p> <p>○内容 周辺商店街へ効果が波及する商業施設の事業化可能性調査</p> <p>○実施時期 H26</p>	<p>一般社団法人 Enactus Japan</p>	<p><u>アップにつながる事業と位置づけている。</u></p> <p>○必要性 長期空き店舗を改修し、商店街の不足業種の一つであるコミュニティカフェを設置することで、商店街の魅力を向上させ、まちのイメージアップを図り、にぎわいを創出するために必要である。</p> <p>○位置付け コザ十字路地域において、新たな地域活動や商店街活動の担い手育成を図る事業と位置付ける。</p> <p>○必要性 コザ十字路地域にインキュベーション施設や研修施設等を設置し地域活動や商店街活動の担い手を育成する事業として必要である。</p>	<p>○支援措置 商店街まちづくり事業（中心市街地活性化事業）</p> <p>○実施時期 H26</p>	

新規追加				

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 音楽によるまちづくり広報支援事業（Music info team） （略）	（略）	（略）	（略）	
○事業名 エイサー資源活用事業 （略）	（略）	（略）	（略）	
○事業名 中心市街地事業活性化推進体制支援事業 （略）	（略）	（略）	（略）	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 音楽によるまちづくり広報支援事業（Music info team） （略）	（略）	（略）	（略）	
○事業名 エイサー資源活用事業 （略）	（略）	（略）	（略）	
○事業名 中心市街地事業活性化推進体制支援事業 （略）	（略）	（略）	（略）	





			①H23～H24 ②H24～H25 ③H25					①H23～H24 ②H24～H26 ③H25～H26		
○事業名 自主文化事業	沖縄市	○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気 を資源として積極的に活用することなどにより 市民一人ひとりが、特に次世代を担うこども たちが国際文化観光都市の未来の担い手であ るという自覚を持ち、主体的に文化活動に参加 する環境（活用・実践の場を伴う人材育成）を 作るための事業として位置付けている。	○支援措置 ①優れた劇場・音楽堂か らの創造発信 事業 ②沖縄振興特 別推進市町村 交付金		○事業名 自主文化事業	沖縄市	○位置付け コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気 を資源として積極的に活用することなどにより 市民一人ひとりが、特に次世代を担うこども たちが国際文化観光都市の未来の担い手であ るという自覚を持ち、主体的に文化活動に参加 する環境（活用・実践の場を伴う人材育成）を 作るための事業として位置付けている。	○支援措置 優れた劇場・ 音楽堂からの 創造発信事業		
○内容 「創る・観 る・育てる」 を柱とした 演劇ワーク ショップ、吹 奏楽フェス タ、市民ミュ ージカル等 の文化事業 を実施		○必要性 「創る・観る・育てる」を三本の柱として、 演劇ワークショップ、吹奏楽フェスタその他文 化事業を行うものであり、文化活動を通じた人 づくりを実現する上で必要である。	○実施時期 ①H23～H24 ②H25～H27		○内容 「創る・観 る・育てる」 を柱とした 演劇ワーク ショップ、吹 奏楽フェス タ、市民ミュ ージカル等 の文化事業 を実施		○必要性 「創る・観る・育てる」を三本の柱として、 演劇ワークショップ、吹奏楽フェスタその他文 化事業を行うものであり、文化活動を通じた人 づくりを実現する上で必要である。	○実施時期 H23～		
○実施時期 S61～					○実施時期 S61～					
○事業名 地域資源活 用型人材育 成事業 (略)	(略)	(略)	(略)		○事業名 地域資源活 用型人材育 成事業 (略)	(略)	(略)	(略)		
○事業名 パークアベ ニュー・リノ ベーション 事業 (略)	(略)	(略)	(略)		○事業名 パークアベ ニュー・リノ ベーション 事業 (略)	(略)	(略)	(略)		
○事業名 コザマップ 事業 (略)	(略)	(略)	(略)		○事業名 コザマップ 事業 (略)	(略)	(略)	(略)		
○事業名 まちづくり フェスタ事 業 (略)	(略)	(略)	(略)		○事業名 まちづくり フェスタ事 業 (略)	(略)	(略)	(略)		

<p>○事業名 沖繩市センター商店街環境整備事業</p> <p>○内容 商店街の共同施設の改修等による商業環境整備</p> <p>○実施時期 H24～</p>	<p>沖繩市センター商店街振興組合</p>	<p>○位置付け 中心市街地の中核的な商店街であるセンター商店街において、商業環境整備としてアーケードの一部改修等を実施することにより、商環境のイメージを向上させ、商店街の活性化を図る。併せて、集客イベントを展開するとともに、商店街の財務状況の改善を図り後継者の育成や組織強化を図ることで、にぎわい創出や商店街の魅力向上、中心市街地の商業活性化を実現するための事業と位置付けている。</p> <p>○必要性 センター商店街は、まちなかのほぼ中央に立地し、「まちの顔」としてふさわしい明るく安全安心で快適な商業空間の整備が求められており、中心市街地におけるにぎわいづくり、商業地としての魅力再構築、商業の活性化を図るために必要である。</p>	<p>○支援措置 地域商業再生事業</p> <p>○実施時期 H24</p>			<p>新規追加</p>					
<p>○事業名 中心市街地市場再生支援事業</p> <p>○内容 市場内の空き店舗を活用し、生鮮品販売や被災地の特産品販売を支援</p> <p>○実施時期 H24</p>	<p>沖繩市</p>	<p>○位置付け ゴヤ市場の空き店舗を活用し、生鮮品販売や被災地の特産品、農商工連携による新商品の販売等、既存店舗との差別化を図った新たな魅力を創出し、胡屋市場の再生と賑わい創出を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 ゴヤ市場は、中心市街地の「市場」として重要な役割を果たしてきたが、近年空き店舗が増え、本来の市場機能が衰退するなど、緊急の課題となっており、「市場」の再生は、まちの賑わい創出を図るためにも必要であるほか、コミュニティの場の維持確保のために必要である。</p>	<p>○支援措置 緊急雇用創出事業（重点分野）</p> <p>○実施時期 H24</p>			<p>○事業名 中心市街地市場再生支援事業</p> <p>○内容 市場内の空き店舗を活用し、生鮮品販売や被災地の特産品販売を支援</p> <p>○実施時期 H24～</p>	<p>沖繩市</p>	<p>○位置付け ゴヤ市場の空き店舗を活用し、生鮮品販売や被災地の特産品、農商工連携による新商品の販売等、既存店舗との差別化を図った新たな魅力を創出し、胡屋市場の再生と賑わい創出を図る事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 ゴヤ市場は、中心市街地の「市場」として重要な役割を果たしてきたが、近年空き店舗が増え、本来の市場機能が衰退するなど、緊急の課題となっており、「市場」の再生は、まちの賑わい創出を図るためにも必要であるほか、コミュニティの場の維持確保のために必要である。</p>	<p>○支援措置 緊急雇用創出事業（重点分野）</p> <p>○実施時期 H24</p>		
<p>○事業名 商店街スポーツイベント等連携促進事業</p> <p>○内容 中心市街地等で開催されるスポーツイベント等と商店街との連携促進による商店街活性化</p>	<p>沖繩市</p>	<p>○位置付け 商店街等とスポーツイベントとの連携を促進し、地域への波及効果を創出する仕組みを構築することで、観光振興による商店街等の活性化を図るため、市内で開催されるスポーツイベントに訪れる観光客などを商店街に誘導・回遊させるための調査・実証業務を行う事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 コザ運動公園の体育施設等が改修されたことで、一般の利用客に加えてスポーツイベントが盛んに開催されており、広域から観光客が訪れる集客施設としても機能していることから、当該スポーツイベントと商店街等の連携を促進</p>	<p>○支援措置 沖縄振興特別推進市町村交付金</p> <p>○実施時期 H25～H27</p>			<p>○事業名 商店街スポーツイベント等連携促進事業</p> <p>○内容 中心市街地等で開催されるスポーツイベント等と商店街との連携促進による商店街活性化</p>	<p>沖繩市</p>	<p>○位置付け 商店街等とスポーツイベントとの連携を促進し、地域への波及効果を創出する仕組みを構築することで、観光振興による商店街等の活性化を図るため、市内で開催されるスポーツイベントに訪れる観光客などを商店街に誘導・回遊させるための調査・実証業務を行う事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 コザ運動公園の体育施設等が改修されたことで、一般の利用客に加えてスポーツイベントが盛んに開催されており、広域から観光客が訪れる集客施設としても機能していることから、当該スポーツイベントと商店街等の連携を促進</p>	<p>○支援措置 沖縄振興特別推進市町村交付金</p> <p>○実施時期 H25</p>		



を図る事業 ○実施時期 H25～		し、地域への波及効果を創出することで、観光振興による商店街等の活性化を図るために必要である。			を図る事業 ○実施時期 H25		し、地域への波及効果を創出することで、観光振興による商店街等の活性化を図るために必要である。		
○事業名 音楽観光誘客事業 ○内容 市内のライブハウスを活用した誘客事業 ○実施時期 H24～	沖縄市	○位置付け まち全体をステージと見立て、観光資源であるライブハウスや民謡クラブを活用し、週末だけでなく平日もライブ演奏が楽しめる環境を創出し、市内外からの誘客を図る。 ○必要性 「音楽のまち」として、市内に多数あるライブハウスや民謡クラブの演奏が常時楽しめることで、中心市街地における誘客効果や地域活性化に寄与でき必要である。	○支援措置 沖縄振興特別推進市町村交付金 ○実施時期 H24～H27		○事業名 音楽観光誘客事業 ○内容 市内のライブハウスを活用した誘客事業 ○実施時期 H24～	沖縄市	○位置付け まち全体をステージと見立て、観光資源であるライブハウスや民謡クラブを活用し、週末だけでなく平日も <del>常時2か所以上</del> ライブ演奏が楽しめる環境を創出し、市内外からの誘客を図る。 ○必要性 「音楽のまち」として、市内に多数あるライブハウスや民謡クラブの演奏が常時楽しめることで、中心市街地における誘客効果や地域活性化に寄与でき必要である。	○支援措置 沖縄振興特別推進市町村交付金 ○実施時期 H24～H26	
○事業名 伝統文化観光推進事業 ○内容 伝統行事であるンマハラシーを開催して沖縄こどもの国活性を図る。 ○実施時期 H24～	沖縄市	○位置づけ <u>こどもの国を活用した伝統競馬である「ンマハラシー」を開催することで、閑散期の集客促進と地域イベントとしての定着を図るとともに全県的な大会の開催に向けた取り組みとして位置づけている。</u> ○必要性 <u>以前は全県的に開催されていた「ンマハラシー」を復活させ、観光資源としての活用を行うとともに、沖縄こどもの国における集客増加を図り、まちなかにおける各種事業と連携による中心市街地の活性化に寄与する事業であるため必要である。</u>	○支援措置 沖縄振興特別推進市町村交付金 ○実施時期 H24～H27		新規追加				
○事業名 観光誘客プロモーション事業 ○内容 地域情報を発信するため、観光ガイド養成講座を開催するとともに、地域資源を活用したまち歩きツアーの製作やモニターツ	沖縄市・沖縄市観光協会	○位置づけ コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用し、地域の持つ魅力を積極的にアピールすることで、沖縄県内および全国から新たな人の流れを呼び起こすための事業。 ○必要性 沖縄市が持つ地域資源を広く内外にアピールすることで観光客の誘客につなげ、にぎわいづくりを実現する上で必要である。	○支援措置 沖縄振興特別推進市町村交付金 ○実施時期 H25～H27		○事業名 観光誘客プロモーション事業 ○内容 地域情報を発信するため、観光ガイド養成講座を開催するとともに、地域資源を活用したまち歩きツアーの製作やモニターツ	沖縄市・沖縄市観光協会	○位置づけ コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気や資源として積極的に活用し、地域の持つ魅力を積極的にアピールすることで、沖縄県内および全国から新たな人の流れを呼び起こすための事業。 ○必要性 沖縄市が持つ地域資源を広く内外にアピールすることで観光客の誘客につなげ、にぎわいづくりを実現する上で必要である。	○支援措置 沖縄振興特別推進市町村交付金 ○実施時期 H25～H26	

ア一等を実施				
○実施時期 H25～				
○事業名 プロスポーツ応援機運醸成事業	沖縄市	○位置づけ スポーツコンベンションシティとして多くの合宿および大会等の誘致を行っている。 その中においてFC琉球のホームタウン、広島東洋カープのキャンプ地としてプロチームとのつながりがあり、市民挙げて当該プロチームの応援機運を醸成するため、バナー・のぼり旗等を掲揚することで、スポーツコンベンションシティ沖縄市を内外に発信する事業として位置づけている。	○支援措置 沖縄振興特別推進市町村交付金	
○内容 応援機運醸成のためのバナー・のぼり旗等の設置			○実施時期 H25～H27	
○実施時期 H25～		○必要性 中心市街地においてキャンプ団体や本市を中心に活動している団体をまちなかで応援バナー等を掲示することで本市を訪れている団体のPRとスポーツコンベンションシティとしての機運醸成を図るとともにまちなかにおける賑わいの創出と景観形成に寄与する事業として必要である。		

ア一等を実施				
○実施時期 H25～				
新規追加				

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 音楽によるまちづくり事業 (略)	(略)	(略)		
○事業名 沖縄国際アジア音楽祭推進事業 (略)	(略)	(略)		
○事業名 モグコザ準備室	株式会社沖縄テクスファーム	○位置づけ 20代、30代の若者の視点を通して、効果的な情報発信と商店街の連携を図るとともに、コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気		

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 音楽によるまちづくり事業 (略)	(略)	(略)		
○事業名 沖縄国際アジア音楽祭推進事業 (略)	(略)	(略)		
○事業名 モグコザ準備室	株式会社沖縄テクスファーム	○位置づけ 20代、30代の若者の視点を通して、効果的な情報発信と商店街の連携を図るとともに、コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気		

○内容 フリーペーパー発行 ショッピングモール型イベント開催  ○実施時期 H19～ <u>H24</u>		して積極的に活用したイベントの実施により中心市街地に効果的な回遊性を促すための事業として位置付けられている。  ○必要性 中心市街地においては、若者をターゲットとした情報発信が効果的になされていなかった。若者が自らまちを歩き、人々と交流を深めながらまちの良さを再発見するためのきっかけ（ツール）をつくる。さらには、市内外の有名な店舗を一同に会したショッピングモール型イベントを開催するもので、にぎわいづくりを実現する上で必要である。				○内容 フリーペーパー発行 ショッピングモール型イベント開催  ○実施時期 H19～		して積極的に活用したイベントの実施により中心市街地に効果的な回遊性を促すための事業として位置付けられている。  ○必要性 中心市街地においては、若者をターゲットとした情報発信が効果的になされていなかった。若者が自らまちを歩き、人々と交流を深めながらまちの良さを再発見するためのきっかけ（ツール）をつくる。さらには、市内外の有名な店舗を一同に会したショッピングモール型イベントを開催するもので、にぎわいづくりを実現する上で必要である。			
○事業名 コザ歌舞団芸能公演事業 (略)	(略)	(略)				○事業名 コザ歌舞団芸能公演事業 (略)	(略)	(略)			
○事業名 こどもの国フェスティバル (略)	(略)	(略)				○事業名 こどもの国フェスティバル (略)	(略)	(略)			
<u>(2)①に移設</u>						○事業名 IT人材育成事業  ○内容 IT社会に対応する人材を育成する  ○実施時期 H12～	沖縄市	○位置付け 中心市街地における新たな就労機会の創出、周辺地元商店街の再活性化、市民の情報リテラシーの向上、沖縄市へのマルチメディア関連産業誘致の促進を図るため、必要な情報通信環境を備えた共同利用型の施設として設置されたテレワークセンターにおいて、具体的に活用・実践の場を伴う人材育成を目指す事業として位置付けている。  ○必要性 次世代を担う世代が情報化社会に対応できるよう、IT人材育成、IT利用環境の充実、強化を図るとともに関係機関との連携により、高度なIT技術者・創造性豊かなクリエイターの育成確保を図るものであり、明日を拓く人づくりを実現する上で必要である。			

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 駐車場誘導整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
○事業名 沖縄市中心市街地循環バス事業 【*再掲】	沖縄市	○位置付け 中心市街地の中心拠点となる胡屋地区において、コザ運動公園、市民会館、こどもの国及びミュージックタウンを結ぶ交通機能として、循環バス有料化・無料化および運行主体の検討を含めた実証実験を行い、中心部の回遊性を高める事業として位置付ける。  ○必要性 循環バスには、沖縄市の中心地の飲食店やライブハウスなどの情報提供及びこどもの国の琉球弧の動物の資料展示やエイサーバナーの展示など本市の持つ地域文化・芸能等の魅力を発信し、来街者・市民に対する情報発信機能と中心市街地への回遊性を誘導する事業として必要である。	○支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）  ○実施時期 H23～H27	

(2) ②～(3) 略

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 駐車場誘導整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
○事業名 沖縄市中心市街地循環バス事業 【*再掲】	沖縄市	○位置付け 中心市街地の中心拠点となる胡屋地区において、コザ運動公園、市民会館、こどもの国及びミュージックタウンを結ぶ交通機能として、循環バス有料化・無料化および運行主体の検討を含めた実証実験を行い、中心部の回遊性を高める事業として位置付ける。  ○必要性 循環バスには、沖縄市の中心地の飲食店やライブハウスなどの情報提供及びこどもの国の琉球弧の動物の資料展示やエイサーバナーの展示など本市の持つ地域文化・芸能等の魅力を発信し、来街者・市民に対する情報発信機能と中心市街地への回遊性を誘導する事業として必要である。	○支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（コリンザ地区）と一体の効果促進事業）  ○実施時期 H23～H26	

(2) ②～(3) 略



(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 沖縄市公共交通総合連携計画策定事業</p> <p>○内容 バス網再編構築計画の作成</p> <p>○実施時期 H22～</p>	沖縄市・他	<p>○位置付け 住民・来訪者の移動手段を確保し、活力ある地域づくりのために公共交通への利用転換と安心安全な歩行空間を創出するとともにまちの効果的な回遊性を図るための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 バス利用者の利便性向上と地域の活性化を図るため、基幹バスを中心としたバス網再構築計画を作成するものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	(略)	

◇ 4 から 8 までに掲げる事業及び措置の実施箇所

※図表は別添。

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 沖縄市公共交通総合連携計画策定事業</p> <p>○内容 バス網再編構築計画の作成</p> <p>○実施時期 H22～<b>H26</b></p>	沖縄市・他	<p>○位置付け 住民・来訪者の移動手段を確保し、活力ある地域づくりのために公共交通への利用転換と安心安全な歩行空間を創出するとともにまちの効果的な回遊性を図るための事業として位置付けている。</p> <p>○必要性 バス利用者の利便性向上と地域の活性化を図るため、基幹バスを中心としたバス網再構築計画を作成するものであり、誰もが居心地の良いまちづくりを実現する上で必要である。</p>	(略)	

◇ 4 から 8 までに掲げる事業及び措置の実施箇所

※図表は別添。

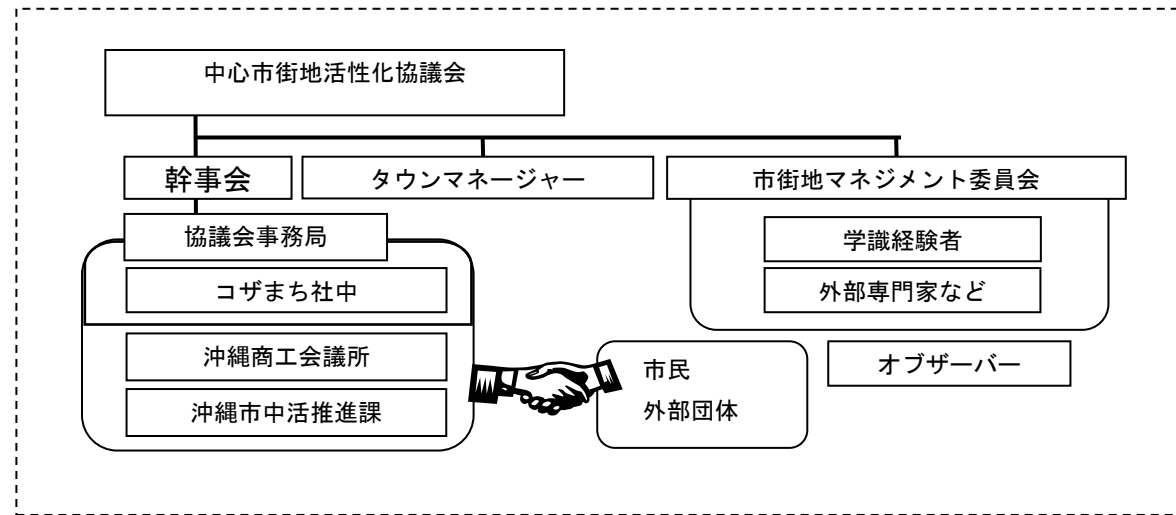
9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1]略

[2] (1)～(3)略

(4) 中心市街地活性化協議会の開催状況（認定後）

【沖縄市中心市街地活性化協議会組織図】



①協議会

回数	開催日	会議の内容（議題）
第1回	平成22年4月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度事業報告書、決算書について</li> <li>平成22年度計画書及び予算計画書について</li> </ul>
第2回	平成23年5月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度事業報告、収支決算書承認について</li> <li>委員の変更等について</li> <li>平成23年度事業計画書(案)、収支予算書決定について</li> <li>特定民間中心市街地活性化事業計画について</li> <li>その他</li> </ul>
第3回	平成23年11月24日 (臨時総会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化基本改革の進捗状況等について</li> <li>平成23年度補正予算(案)について</li> </ul>
第4回	平成24年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>胡屋地区商店街商業環境整備事業について</li> <li>中心市街地活性化協議会事務局支援事業について</li> <li>胡屋地区リノベーション事業について</li> </ul>
第5回	平成24年5月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度事業報告(案)、収支決算(案)について</li> <li>平成24年度事業計画(案)、収支予算(案)について</li> <li>委員の選任について</li> <li>タウンマネージャー設置に伴う規程設置等について</li> </ul>
第6回	平成25年9月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度事業報告書及び決算書について</li> <li>平成25年度事業計画書(案)及び予算計画書(案)について</li> <li>幹事会委員改選に伴う新委員の承認について</li> <li>中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告について</li> </ul>

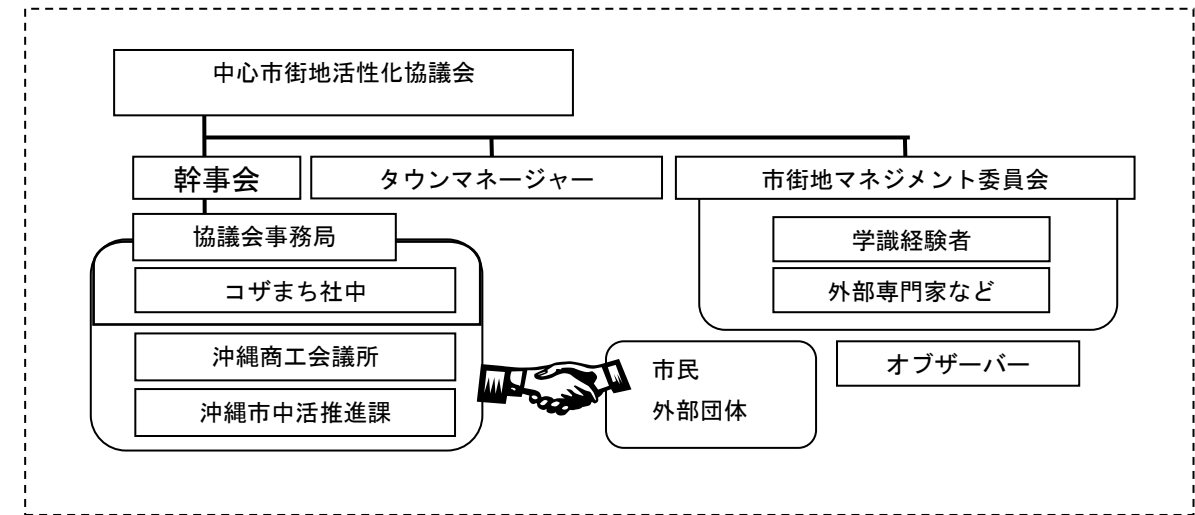
9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1]略

[2] (1)～(3)略

(4) 中心市街地活性化協議会の開催状況（認定後）

【沖縄市中心市街地活性化協議会組織図】



①協議会

回数	開催日	会議の内容（議題）
第1回	平成22年4月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度事業報告書、決算書について</li> <li>平成22年度計画書及び予算計画書について</li> </ul>
第2回	平成23年5月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度事業報告、収支決算書承認について</li> <li>委員の変更等について</li> <li>平成23年度事業計画書(案)、収支予算書決定について</li> <li>特定民間中心市街地活性化事業計画について</li> <li>その他</li> </ul>
第3回	平成23年11月24日 (臨時総会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化基本改革の進捗状況等について</li> <li>平成23年度補正予算(案)について</li> </ul>
第4回	平成24年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>胡屋地区商店街商業環境整備事業について</li> <li>中心市街地活性化協議会事務局支援事業について</li> <li>胡屋地区リノベーション事業について</li> </ul>
第5回	平成24年5月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度事業報告(案)、収支決算(案)について</li> <li>平成24年度事業計画(案)、収支予算(案)について</li> <li>委員の選任について</li> <li>タウンマネージャー設置に伴う規程設置等について</li> </ul>
第6回	平成25年9月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度事業報告書及び決算書について</li> <li>平成25年度事業計画書(案)及び予算計画書(案)について</li> <li>幹事会委員改選に伴う新委員の承認について</li> <li>中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告について</li> </ul>

第7回	平成26年5月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度事業報告書及び決算書について</li> <li>平成26年度事業計画書(案)及び予算計画書(案)について</li> </ul>
第8回	平成26年9月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期中心市街地活性化基本計画策定に向けた検討について</li> </ul>

②幹事会

回数	開催日	会議の内容(議題)
第1回	平成22年12月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化事業(基本計画掲載事業)の進捗状況</li> <li>中心市街地活性化協議会事業の進捗状況</li> <li>地域商業活性化事業(中企庁補正予算事業)について</li> <li>中活計画及び民間事業公募説明会について</li> <li>平成23年度中心市街地活性化事業(案)について</li> </ul>
第2回	平成23年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度事業報告書及び決算書(案)について</li> <li>平成23年度事業計画書(案)及び予算書について</li> <li>一番街商店街、サンシティ商店街等活性化計画について</li> <li>幹事の任期満了に伴う再任命等について</li> </ul>
第3回	平成23年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>胡屋地区商店街商業環境整備事業の変更認定について</li> <li>事業進捗について</li> <li>専門部会の設置について</li> <li>その他</li> </ul>
第4回	平成23年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化基本計画の進捗状況について</li> <li>平成23年度補正予算(案)について</li> <li>大規模集客施設広域調整事例調査への会員派遣について</li> <li>次年度以降における国庫支援事業の活用について</li> </ul>
第5回	平成23年4月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度事業報告、収支決算書承認について</li> <li>平成23年度事業計画書(案)、収支予算書決定について</li> <li>一番街サンシティ商店街アーケード改修事業について</li> </ul>
第6回	平成24年1月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度戦略補助金活用事業について</li> </ul>
第7回	平成24年5月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度事業報告(案)、収支決算(案)について</li> <li>平成24年度事業計画(案)、収支予算(案)について</li> <li>委員の選任について</li> <li>タウンマネージャー設置に伴う規程設置等について</li> </ul>
第8回	平成25年1月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度中活事業進捗状況について</li> <li>次年度中活基本計画について</li> </ul>
第9回	平成25年8月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度事業報告書及び決算書について</li> <li>平成25年度事業計画書(案)及び予算計画書(案)について</li> <li>幹事会委員改選に伴う新委員の承認について</li> <li>中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告について</li> </ul>
第10回	平成25年12月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市中心市街地活性化政策の継続実施に関する要望書について</li> </ul>
第11回	平成26年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度事業報告書(案)及び決算書(案)について</li> <li>平成26年度事業計画書(案)及び予算計画書(案)について</li> </ul>
第12回	平成26年9月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期中心市街地活性化基本計画策定に向けた検討について</li> </ul>

第7回	平成26年5月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度事業報告書及び決算書について</li> <li>平成26年度事業計画書(案)及び予算計画書(案)について</li> </ul>
新規追加		

②幹事会

回数	開催日	会議の内容(議題)
第1回	平成22年12月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化事業(基本計画掲載事業)の進捗状況</li> <li>中心市街地活性化協議会事業の進捗状況</li> <li>地域商業活性化事業(中企庁補正予算事業)について</li> <li>中活計画及び民間事業公募説明会について</li> <li>平成23年度中心市街地活性化事業(案)について</li> </ul>
第2回	平成23年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度事業報告書及び決算書(案)について</li> <li>平成23年度事業計画書(案)及び予算書について</li> <li>一番街商店街、サンシティ商店街等活性化計画について</li> <li>幹事の任期満了に伴う再任命等について</li> </ul>
第3回	平成23年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>胡屋地区商店街商業環境整備事業の変更認定について</li> <li>事業進捗について</li> <li>専門部会の設置について</li> <li>その他</li> </ul>
第4回	平成23年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化基本計画の進捗状況について</li> <li>平成23年度補正予算(案)について</li> <li>大規模集客施設広域調整事例調査への会員派遣について</li> <li>次年度以降における国庫支援事業の活用について</li> </ul>
第5回	平成23年4月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度事業報告、収支決算書承認について</li> <li>平成23年度事業計画書(案)、収支予算書決定について</li> <li>一番街サンシティ商店街アーケード改修事業について</li> </ul>
第6回	平成24年1月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度戦略補助金活用事業について</li> </ul>
第7回	平成24年5月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度事業報告(案)、収支決算(案)について</li> <li>平成24年度事業計画(案)、収支予算(案)について</li> <li>委員の選任について</li> <li>タウンマネージャー設置に伴う規程設置等について</li> </ul>
第8回	平成25年1月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度中活事業進捗状況について</li> <li>次年度中活基本計画について</li> </ul>
第9回	平成25年8月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度事業報告書及び決算書について</li> <li>平成25年度事業計画書(案)及び予算計画書(案)について</li> <li>幹事会委員改選に伴う新委員の承認について</li> <li>中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告について</li> </ul>
第10回	平成25年12月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市中心市街地活性化政策の継続実施に関する要望書について</li> </ul>
第11回	平成26年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度事業報告書(案)及び決算書(案)について</li> <li>平成26年度事業計画書(案)及び予算計画書(案)について</li> </ul>
新規追加		



③その他の会議

I 事務局会議（幹事長・まちづくりNPOコザまち社中・商工会議所・沖縄市）

回数	開催日	会議の内容（議題）
第1回	平成23年7月4日	・広報事業について ・調査研究事業について
第2回	平成24年1月11日	・タウンマネージャーの設置について ・タウンマネージャーの役割について ・タウンマネージャーに委託する事業内容について ・タウンマネージャー選定の理由について
第3回	平成24年4月19日	・今年度の実施体制について ・スケジュールについて
第4回	平成24年5月15日	・平成23年度事業報告（案）、収支決算（案）について ・平成24年度事業計画（案）、収支予算（案）について ・委員の選任について ・タウンマネージャー設置に伴う規程設置等について
第5回	平成25年6月3日	・タウンマネージャー設置について ・今後の体制について
第6回	平成25年11月11日	・協議会事業について ・中心市街地活性化基本計画の継続について ・来年度予算について
第7回	平成26年3月4日	・平成26年度中活協議会事業について ・平成26年度予算について ・タウンマネージャー継続について
第8回	平成26年4月11日	・平成26年度中活について（方針） ・平成26年度幹事会、総会について ・平成25年度事業報告書（案）、収支決算書（案）について ・平成26年度事業計画書（案）、収支予算書（案）について ・イオンモール（北中城村）及びエイサー会館について
第9回	<u>平成26年6月11日</u>	・ <u>今後の検討体制について</u> ・ <u>先進地視察について</u> ・ <u>活動内容の周知等について</u>

③その他の会議

I 事務局会議（幹事長・まちづくりNPOコザまち社中・商工会議所・沖縄市）

回数	開催日	会議の内容（議題）
第1回	平成23年7月4日	・広報事業について ・調査研究事業について
第2回	平成24年1月11日	・タウンマネージャーの設置について ・タウンマネージャーの役割について ・タウンマネージャーに委託する事業内容について ・タウンマネージャー選定の理由について
第3回	平成24年4月19日	・今年度の実施体制について ・スケジュールについて
第4回	平成24年5月15日	・平成23年度事業報告（案）、収支決算（案）について ・平成24年度事業計画（案）、収支予算（案）について ・委員の選任について ・タウンマネージャー設置に伴う規程設置等について
第5回	平成25年6月3日	・タウンマネージャー設置について ・今後の体制について
第6回	平成25年11月11日	・協議会事業について ・中心市街地活性化基本計画の継続について ・来年度予算について
第7回	平成26年3月4日	・平成26年度中活協議会事業について ・平成26年度予算について ・タウンマネージャー継続について
第8回	平成26年4月11日	・平成26年度中活について（方針） ・平成26年度幹事会、総会について ・平成25年度事業報告書（案）、収支決算書（案）について ・平成26年度事業計画書（案）、収支予算書（案）について ・イオンモール（北中城村）及びエイサー会館について
新規追加		



第10回	平成26年9月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>中心市街地活性化基本計画の進捗状況等について</u></li> <li>・<u>中心市街地活性化検討委託業務について</u></li> <li>・<u>先進地視察について</u></li> </ul>
第11回	平成26年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>先進地視察について</u></li> </ul>

II 勉強会（幹事長・まちづくりNPOコザまち社中・商工会議所・沖縄市）

回数	開催日	会議の内容（議題）
第1回	平成24年4月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中活事業の進捗状況について</li> <li>・年間スケジュールの叩きづくり</li> </ul>
第2回	平成24年5月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の選任について</li> <li>・タウンマネージャー設置に伴う規程設置等について</li> <li>・幹事会について</li> </ul>
第3回	平成24年6月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究について</li> <li>・タウンマネージャー設置事業について</li> <li>・商店街を巻き込んだ勉強会の検討について</li> </ul>
第4回	平成24年10月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会運営に関する総合的な取組みについて</li> <li>・目標達成を支えるための取組みについて</li> <li>・スケジュールについて</li> </ul>
第5回	平成25年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容とスケジュールについて</li> <li>・幹事会次第について</li> <li>・次年度の協議会運営等について</li> </ul>
第6回	平成25年2月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度予算、事業計画について</li> <li>・次年度基本計画について</li> </ul>
第7回	平成25年9月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学はいま 戦略イノベーション 不確実性と企業</li> <li>・10年先ビジョンについて</li> </ul>
第8回	平成25年10月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学はいま 戦略イノベーション 不確実性と企業</li> <li>～企業の競争は個別事業の単位で～</li> <li>・今後のまちづくりについて</li> </ul>
第9回	平成25年11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学はいま 戦略イノベーション 不確実性と企業</li> <li>～金融工学で機会損失削減～</li> <li>・中活基本計画延長申請に関して</li> </ul>
第10回	平成25年11月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりコンセプトについて</li> <li>・中活基本計画延長申請に伴う幹事会開催について</li> </ul>
第11回	平成25年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりについて（参考資料：街の未来）</li> <li>・第2回中活協議会幹事会について（報告）</li> </ul>
第12回	平成26年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりについて（参考資料：中心市街地政策まとめ）</li> <li>・次年度中活協議会について</li> </ul>

新規追加		
新規追加		

II 勉強会（幹事長・まちづくりNPOコザまち社中・商工会議所・沖縄市）

回数	開催日	会議の内容（議題）
第1回	平成24年4月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中活事業の進捗状況について</li> <li>・年間スケジュールの叩きづくり</li> </ul>
第2回	平成24年5月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の選任について</li> <li>・タウンマネージャー設置に伴う規程設置等について</li> <li>・幹事会について</li> </ul>
第3回	平成24年6月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究について</li> <li>・タウンマネージャー設置事業について</li> <li>・商店街を巻き込んだ勉強会の検討について</li> </ul>
第4回	平成24年10月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会運営に関する総合的な取組みについて</li> <li>・目標達成を支えるための取組みについて</li> <li>・スケジュールについて</li> </ul>
第5回	平成25年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容とスケジュールについて</li> <li>・幹事会次第について</li> <li>・次年度の協議会運営等について</li> </ul>
第6回	平成25年2月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度予算、事業計画について</li> <li>・次年度基本計画について</li> </ul>
第7回	平成25年9月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学はいま 戦略イノベーション 不確実性と企業</li> <li>・10年先ビジョンについて</li> </ul>
第8回	平成25年10月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学はいま 戦略イノベーション 不確実性と企業</li> <li>～企業の競争は個別事業の単位で～</li> <li>・今後のまちづくりについて</li> </ul>
第9回	平成25年11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営学はいま 戦略イノベーション 不確実性と企業</li> <li>～金融工学で機会損失削減～</li> <li>・中活基本計画延長申請に関して</li> </ul>
第10回	平成25年11月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりコンセプトについて</li> <li>・中活基本計画延長申請に伴う幹事会開催について</li> </ul>
第11回	平成25年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりについて（参考資料：街の未来）</li> <li>・第2回中活協議会幹事会について（報告）</li> </ul>
第12回	平成26年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりについて（参考資料：中心市街地政策まとめ）</li> <li>・次年度中活協議会について</li> </ul>

第13回	平成26年7月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他地区での大型店との連携について</li> <li>・視察先の選定について</li> <li>・視察者の選定について</li> </ul>
第14回	平成26年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察地の概要、行程、質問事項等について</li> </ul>

Ⅲ フォーラム及びセミナー開催について

【沖縄市中心市街地活性化フォーラム】

日 時：平成23年2月16日（水）  
 場 所：沖縄市民小劇場あしびなー  
 主 催：沖縄市中心市街地活性化協議会  
 テーマ：藻谷浩介氏講演会 ～地域経済再生へのカギ～  
 参加人数：20名

【沖縄市中心市街地活性化セミナー】

日 時：平成25年3月1日（金）  
 場 所：KOZA GATE APARTMENT 2F  
 主 催：沖縄市中心市街地活性化協議会  
 テーマ：地元でデザイン地デザイン講座inコザ  
 参加人数：42名

【沖縄市中心市街地活性化セミナー】

日 時：平成25年3月15日（金）  
 場 所：商店街交流ひろばコザBOX 2階 きぼう館  
 主 催：沖縄市中心市街地活性化協議会  
 テーマ：中心市街地活性化におけるまちづくり会社の役割について  
 参加人数：38名

【沖縄市中心市街地活性化セミナー】

日 時：平成26年3月7日（金）  
 場 所：商店街交流ひろばコザBOX 2階 きぼう館  
 主 催：中小基盤整備機構  
 共 催：沖縄市中心市街地活性化協議会  
 テーマ：胡屋十字路周辺地区整備事業に係る諫早市の事例研究  
 参加人数：20名

[3]略

新規追加		
新規追加		

Ⅲ フォーラム及びセミナー開催について

【沖縄市中心市街地活性化フォーラム】

日 時：平成23年2月16日（水）  
 場 所：沖縄市民小劇場あしびなー  
 主 催：沖縄市中心市街地活性化協議会  
 テーマ：藻谷浩介氏講演会 ～地域経済再生へのカギ～  
 参加人数：20名

【沖縄市中心市街地活性化セミナー】

日 時：平成25年3月1日（金）  
 場 所：KOZA GATE APARTMENT 2F  
 主 催：沖縄市中心市街地活性化協議会  
 テーマ：地元でデザイン地デザイン講座inコザ  
 参加人数：42名

【沖縄市中心市街地活性化セミナー】

日 時：平成25年3月15日（金）  
 場 所：商店街交流ひろばコザBOX 2階 きぼう館  
 主 催：沖縄市中心市街地活性化協議会  
 テーマ：中心市街地活性化におけるまちづくり会社の役割について  
 参加人数：38名

【沖縄市中心市街地活性化セミナー】

日 時：平成26年3月7日（金）  
 場 所：商店街交流ひろばコザBOX 2階 きぼう館  
 主 催：中小基盤整備機構  
 共 催：沖縄市中心市街地活性化協議会  
 テーマ：胡屋十字路周辺地区整備事業に係る諫早市の事例研究  
 参加人数：20名

[3]略







